ソフトウェアの著作権に関する注意
Copyright© 2001
Software 2000 Ltd.
Oxford, England

Copyright© 2001
Microsoft Corporation.

Copyright© 2000
Palomar Software, Inc.
2964 Oceanside Boulevard,Oceanside,California,92054,USA

国際エネルギースタープログラムについて
当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、
本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本プリンタを日本国外へ持ち出す場合について
本プリンタ（ソフトウェアを含む）の保証は、日本国内においてのみ有効です。日本国外での修理、技術サポートなどの対応はお受けできませんのでご了承ください。また、本プリンタを運用した結果、日本国外ではその国の法律または規制によって、罰せられることがありますが、一切責任を負うことはできませんのでご了承ください。

ご注意
1. 本書の内容は、機能改善のため予告なしに変更することがあります。
2. 本書の内容の一部、または全部を当社の許可なく複製、変更、転用等の二次利用することを禁じます。
3. 本書の内容については万全を期して作成しましたが、記述の誤り、漏れ等、お気付きの点がありましたら巻末に記載されている株式会社きもとにご連絡ください。
4. 本書に掲載された情報の使用に関して、いかなる直接損害、間接損害、特別損害、偶発的損害または結果的損害については、当社は一切責任を負うことはできませんのでご了承ください。また、本書に掲載された情報の使用によって、お使いの機器やデータに何らかの修復や訂正が必要となったとしても、その回復費用はご自身で負担するものとします。

MS、Microsoft、MS-DOS、Windows　WindowNT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
Apple、Macintosh、漢字 Talk、QuickDraw GX、ColorSync、AtEase、Performa、Mac OS、PowerMacintosh、iMac は、
米国アップルコンピュータ社の商標または登録商標です。
その他の会社名、商品名は、該当各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、Kimosetter 340iをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
Kimosetter 340iをご使用になる前に本書をよくお読みいただき、本プリンタの機能を充分にご活用ください。

各タブのついているページでは、下記の説明をしています。
「for Win and Mac」　Windows、Macintoshを共通で説明しています。
「for Windows」　Windows 95/98/Me、Windows NT/2000/XPについて説明しています。
「for Macintosh」　Macintoshについて説明しています。

安全上のご注意

この「取扱説明書」および「製品への表示」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。この内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。
例えば は、「指をはさまれないように注意」を示しています。

禁止の行為であることを告げるものです。
例えば は、「分解禁止」を示しています。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
例えば は、「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

警告

- 電源はAC100V（50Hzまたは60Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、破損しないでください。また、重たいものを乗せたり、過熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- 濡れた手で電源コードの差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- 万一、異常な過熱や臭いがするなどの異常な状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

- ご自分で分解したり、修理したりすることは絶対にしないでください。故障や感電の原因となります。

分解禁止

- 通風孔や開口部などから、本プリンタの内部やインクカセットの内部に、クリップやホチキスの針等の異物を落とさないように注意してください。このような状態で使用すると、故障や火災などの原因となり危険です。

- 次のような事態が生じた場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて株式会社 きもと または販売店にご相談ください。このような状態で使用すると、火災や感電の原因となります。
  - 電源コードや差し込みプラグが擦り切れたり、損傷をした場合。
  - 本プリンタ内部に水や液体をこぼした場合。
  - 雨または過度の湿気の中に本プリンタをさらした場合。
  - 本プリンタを落としたり、損傷した場合。
  - 修理や点検が必要と考えられる場合。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

- 湿度が高い場所や、本プリンタに水がかかるような場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

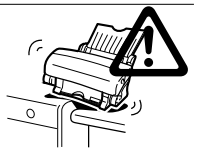
水場での使用禁止

- 各種接続コード（ケーブル）は、本書で指示されている以外の接続をしないでください。火災や感電の原因となります。

注意

- 本プリンタは電源コードの差し込みプラグを抜いたときに、電源の接続が完全に切れます。安全のためすぐにコンセントから電源コードの差し込みプラグを抜くことができるように、本プリンタを設置してください。また、コンセントから抜くときには、必ず電源コードの差し込みプラグを持って抜いてください。

- 水平で安定した場所で使用および保存してください。振動および衝撃がない場所でお使いください。落下によるケガ、破損や誤動作の原因となります。



- ほこりが多い場所や潮風があたるなど塩分の多い場所を避け、水や油、薬品がかからないようにしてください。プリンタ内部に入って、火災や感電の原因となります。

- インクカセットは安全のため幼児の手の届かないところに保管してください。
- インクカセットは指定された用紙との組み合わせで使用してください。異なる組み合わせで使用すると、インクカセットのリボンを損傷することがあります。印字は用紙の印字可能範囲に行ってください。

- 長期間本プリンタをご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

- 雷が近づいてきたときは、早めに電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

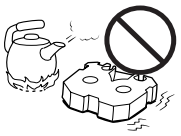
- 本プリンタの上に乗ったり、重いものを乗せたりしないでください。特に幼児の手の届くところには、設置、保管をしないでください。転倒や落下によるケガ、破損の原因となります。

- SCSI接続、SCSIアダプタの取り付け取り外しを行うときは、コンピュータの電源と本プリンタの電源が完全に切れている状態で行ってください。コンピュータや本プリンタの故障の原因になります。

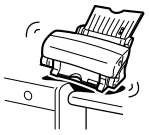
- 他のSCSI周辺機器を併用するディジーチェーン接続をした場合、他のSCSI周辺機器の設定や機器の種類によっては、誤動作する場合があります。また､使用するSCSIケーブル､ターミネータは指定のものをご使用ください。

使用上の注意

- 本プリンタの電源スイッチを「OFF」にしただけでは、本プリンタ内部に供給されている電源電圧を遮断することはできません。本プリンタは電源コードを抜いたときに、はじめて完全に電源が切れます。
- 本プリンタにて印字された用紙を複写機・レーザプリンタ等の高熱を用いて処理するプリンタに使用しないでください。印字したインクが溶けて汚れたり、機械の故障の原因となります。
- インクカセットは、高温、高湿での保存を避けてください。使用するときは、使用する環境温度に十分なじませてください。また、結露のある状態では保存しないでください。また、裏返したり、巻戻したりしても再利用はできません。再利用しても、文字が欠けてしまい、正しい印字ができません。

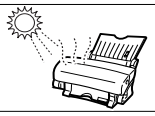


- 印字動作中に電源を切ったり、電源コードの差し込みプラグを抜かないでください。印字ヘッドが用紙に接触したままとなり、故障の原因になります。必ず、ready ランプが点灯状態で、本プリンタの動作が停止したことを確認してから電源を切ってください。
- 電源を切ったのち、ふたたび電源を入れるときは、すべてのランプが消えていることを確認して、4秒以上待ってから電源を入れてください。電源を切った直後に電源を入れると、本プリンタが誤動作することがあります。
- 振動および衝撃が加えられた場合にインクカセットホルダからインクカセットが外れていたり、リボンがたるんでいることがあります。動作を行う前に、インクカセットがインクカセットホルダに正しく装着されていることを必ず確認してください。

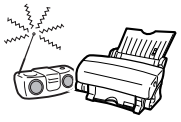


- 周囲の温度が15℃～30℃、湿度が30%～70%(結露なきこと)の範囲でお使いください。

- 直射日光があたる場所やエアコンのそばなど温度変化が激しい場所は避けてください。また、車の中などのように温度が急に上昇するところには放置しないでください。



- ラジオ、テレビなどの受信機に近づけて使用しないでください。ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。その場合には、ラジオやテレビなどから本プリンタを離したり、別のコンセントを使用してください。



- プリンタをパソコンラック等に設置した場合、プリンタ動作時の振動によって、増設したハードディスク等の動作に影響を与える場合があります。影響がある場合は、プリンタの設置場所を変更してください。
- 本プリンタはMacintoshコンピュータ拡張機能のQuickDraw GXには対応していません。
- 本プリンタはWindows環境でのSCSI接続には対応していません。

本書の見方

本書は、本プリンタの機能を充分にご活用いただくためのユーザーズマニュアルです。本プリンタを使用して印字を行う前に必要な準備、注意事項、基本的な操作方法、トラブル発生時の対処方法、メンテナンス方法など、本プリンタの取り扱い全般に関して説明しています。また、本プリンタを使用して印字を行うためのプリンタドライバのインストール方法、プリンタドライバによる印字条件の設定方法なども説明しています。
以下を参照して、使い方に応じた適切なページをお読みください.

本書の構成

第1章 - 基本操作ガイド

この章では、プリンタの準備、プリンタの各部の名称や機能、インクカセットや用紙をセットする方法などを説明しています。はじめて本プリンタをお使いになる場合や、インクカセットや用紙をセットする場合などにお読みください。

第2章 - プリンタドライバをインストールする

この章では、コンピュータにプリンタドライバをインストールする方法、各印字モードで必要となる用紙、インクカセット、プリンタドライバの設定を説明しています。

第3章 - プリンタドライバ

この章では、プリンタドライバの設定方法や機能について説明しています。

第4章 - メンテナンス、仕様

この章では、プリンタのメンテナンス方法や、プリンタの基本仕様などについて説明しています。

第5章 - 修理に出す前に

この章では、修理に出す前に確認する事項や、トラブルの対処方法を説明しています。

本書での表記

- **本書では以下のようなマークを示し、操作上の注意事項や参考となる内容を説明します。**

ポイント

操作のポイントとなることを補足説明します。

参考

関連する操作や知っておいてほしいことを説明します。

注意

操作する上で注意してほしいことを説明します。

目次

はじめに i
安全上のご注意 ii
絵表示の例 ii
警 告 iii
注 意 iv
使用上の注意 v
本書の見方 vi
本書の構成 vi
本書での表記 vii

第 1 章　基本操作ガイド 1

プリンタの準備をする（必ず最初にお読みください） 2
各部の名称とその働きについて 11
本体（前面） 11
本体（内部） 12
本体（背面） 13
本体（背面・SCSI アダプタを取り付けた状態） 14
給紙切換レバー 14
操作パネル 15
インクカセットの取り扱い方 16
インクカセットの種類を確認する 16
インクカセットを装着する 16
インクカセットを交換する 19
キャリッジからインクカセットが外れないとき 21
キャリッジからインクカセットを取り外す場合 22
用紙をセットする 23
用紙の種類を確認する 23
デジグラフ TH に印字するには 23
電源のオンとオフの手順 25
電源を入れるとき 25
電源を切るとき 25

第2章　プリンタドライバをインストールする 27

プリンタドライバをインストールする（Windowsの場合） 28
動作環境 28
プリンタドライバのインストール（パラレル接続の場合） 28
プリンタドライバのインストール（USB 接続の場合） 29

印字する 32
デジグラフ TH に印字する 32

プリンタドライバをインストールする（Macintoshの場合） 35
動作環境 35
プリンタドライバのインストール 36
プリンタドライバを選ぶ 36

印字する 38
デジグラフ TH に印字する 38

第 3 章　プリンタドライバ 41

プリンタドライバの機能（Windowsの場合） 42

「KIMOTO Kimosetter 340i」ダイアログの表示方法 42

「KIMOTO Kimosetter 340i」ダイアログの各部の名称と機能 42

基本設定タブの設定 43

用紙の種類 43

用紙サイズ 43

ハーフトーン 43

自由用紙サイズ（Windows NT / 2000 / XP） 43

印刷の方向 44

印刷部数 44

［デフォルト設定］ボタン 44

［バージョン］ボタン 44

［リボン情報］ボタン 44

プリンタドライバの機能（Macintoshの場合） 45

［セレクタ］での設定 45

セレクタでの設定内容 45

ポートの選択 46

AppleTalk 46

［用紙設定］ダイアログ 47

用紙 47

サイズ 47

［サイズ登録］ボタン（自由用紙サイズの登録） 48

縮小／拡大率 48

プリント方向 49

プリント効果 49

OK/キャンセル 49

［印字］ダイアログ 49

部数 50

ページ 50

紙送り 50

ハーフトーン 50

最終ページからプリント 50

プリント 50

キャンセル 50

プレビュー 50

設定一覧 51

バックグラウンドプリント 52

バックグラウンドプリントを使えるようにするには 52

デスクトッププリント 53

ドラッグ＆ドロップによる印字 53

プリンタアイコン 53

プリントモニタ 54

第 4 章　メンテナンス・仕様 55

プリンタのメンテナンス 56
本体の清掃 56
印字ヘッドの清掃 58
プラテンの清掃 59
用紙送りローラの清掃 60
給紙ローラの清掃 61

ready/insertボタンの機能 63

ランプ表示一覧 63
各ランプの表示 63
印字を高速化するには（Windows でパラレルポート接続の場合） 64
設定方法 64
増設パラレルポート搭載時 65
特殊用途での注意事項（Windows の場合） 65
片方向インターフェースの使用について 65
ディップスイッチの設定（Macintosh で SCSI 接続する場合） 66

プリンタの輸送 67

仕様 68
一般仕様 68
印字範囲 69

オプションとサプライ品について 70
Kimosetter 340i 用サプライ品一覧 70
オプション(Macintosh用） 70
インクカセット 70
用紙類 70

第 5 章　修理に出す前に 71

1.はじめに 72

2.困ったときには 73

電源が入らない 73
紙づまりが起きたとき 73
キャリッジからインクカセットが外れないとき 75
キャリッジからインクカセットを取り外す場合 76
電源を入れると異音が発生する 77
用紙が正しく送れない 78
インクカセットについて 80
印字結果について 82
印字が薄い／ムラがある／白線や隙間が生じる 82
その他のトラブル時の対処法（Windows の場合） 83
インストールできない／インストールしても印字できない 83
接続方法／機種問い合わせ 84
印字しない／印字が止まる 85
印字が異常に遅い 86
接続方法に関して 87
その他 87
その他のトラブル時の対処法（Macintosh の場合） 89
インストール時「ディスクに書類が入っていません」と表示される／インストーラが見つからない 89
セレクタにアイコンが出てこない 90
セレクタからプリンタを選択できない / ポート番号が出てこない 90
印字しない／印字が止まる 91
印字が異常に遅い 92
接続方法に関して 92
その他 93

3.エラーメッセージが表示されたときには 95

問い合わせ/修理依頼シート 104

第1章
基本操作ガイド

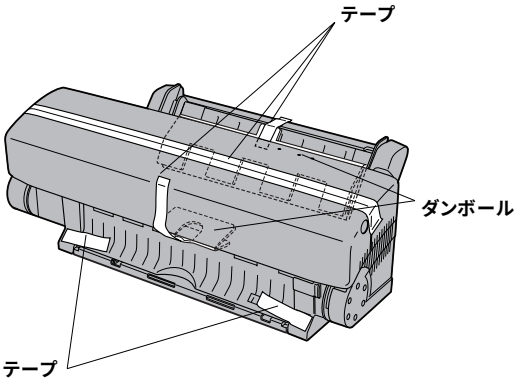
本章では、プリンタを箱から出してから印字するまでの準備や基本的な操作について説明します。プリンタ内部の固定部材の外し方、インクカセットのセット方法、用紙のセット方法などについて説明しています。印字を行う前に必ず本章をお読みください。

プリンタの準備をする（必ず最初にお読みください）

箱から取り出したプリンタは、輸送中の破損防止のため、固定部材やテープなどで保護されています。まずご使用の前にこれらの固定部材やテープなどを取り外し、印字できるように準備を行います。さらにプリンタを適切な場所に設置し、プリンタケーブル等を接続します。固定部材やテープを外さないまま印字を行うと故障の原因となります。必ず以下の手順に従って準備を行ってください。

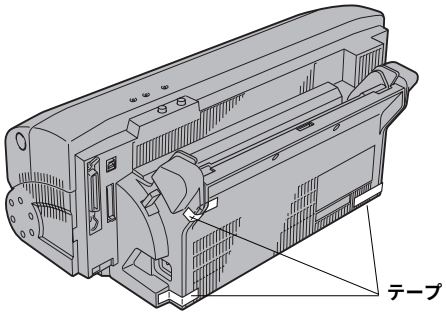
Step 1　外部正面の固定部材を取り外す

正面のテープ(5カ所)とダンボール(2カ所)を取り外します。



Step 2　外部背面のテープを取り外す

背面のテープ(3カ所)を取り外します。

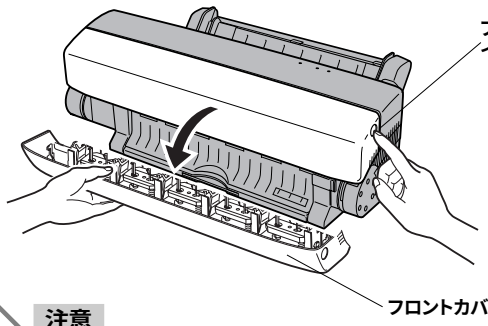


Step 3　フロントカバーを開ける

内部の固定部材を取り外すためにフロントカバーを開けます。

▽ フロントカバーイジェクトボタンを押す。
内部のロックが外れます。

▽ さらにフロントカバーイジェクトボタンを押しながら別の手をフロントカバーの下に添え、静かに開ける。

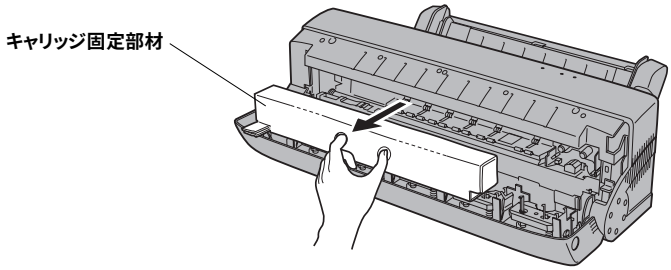


注意

このときフロントカバーを強く押し下げないようにしてください。

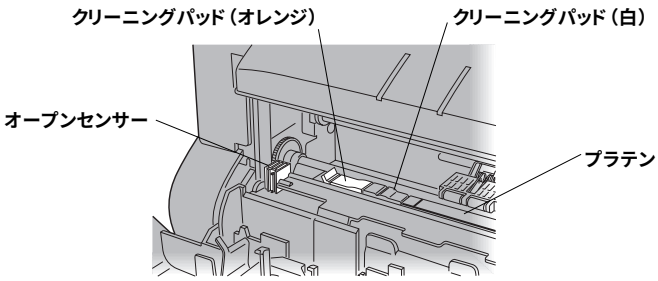
Step 4 内部の固定部材を取り外す

キャリッジ固定部材をゆっくりと引き出します。



注意 （クリーニングパッド、オープンセンサーについて）

- **プラテンの左端にあるクリーニングパッド（オレンジと白）は、印字ヘッドのクリーニング用です。**



- **クリーニングパッドは取り外さないでください。取り外してしまった場合は故障の原因になります。**
- **プリンタ内部の左端にあるオープンセンサーには指などで触れないでください。**

Step 5 フロントカバーを閉めます

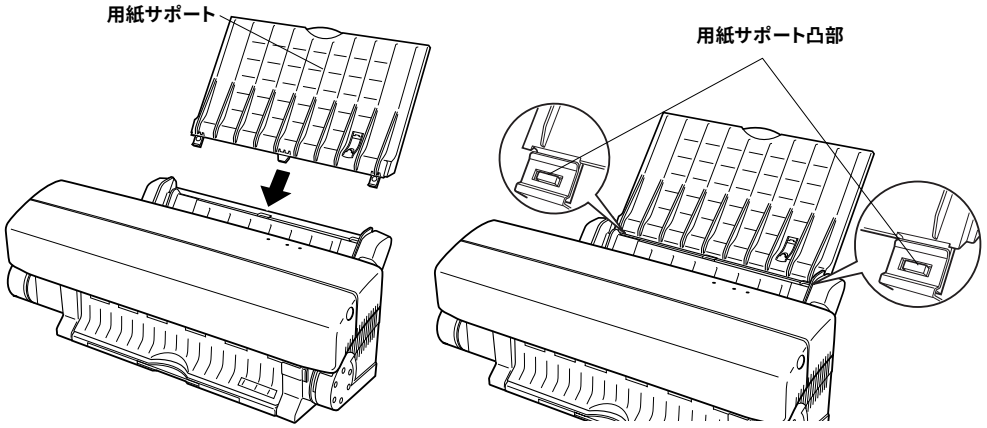
フロントカバーの両端を持ち上げて静かに閉めます。このときロックがかかると「カチッ」と音がします。

注意

フロントカバーを閉めるとき、たたきつけるような衝撃を与えないでください。インクカセットが外れたり、故障の原因となります。

Step 6　用紙サポートをセットする

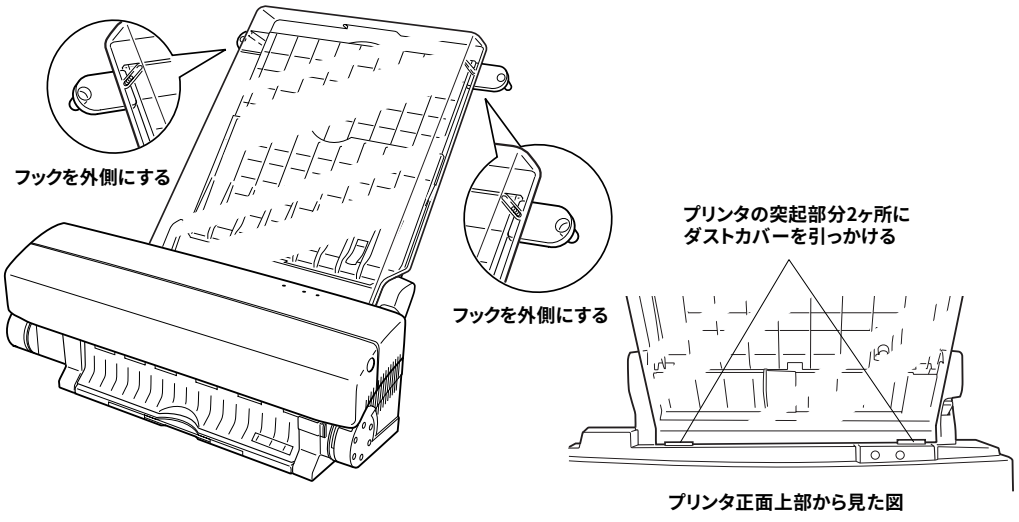
プリンタにセットした用紙が後ろにそらないようにするための用紙サポートをセットします。セットした状態で用紙サポートの凸部がプリンタの凹部に入っていることを確認します。



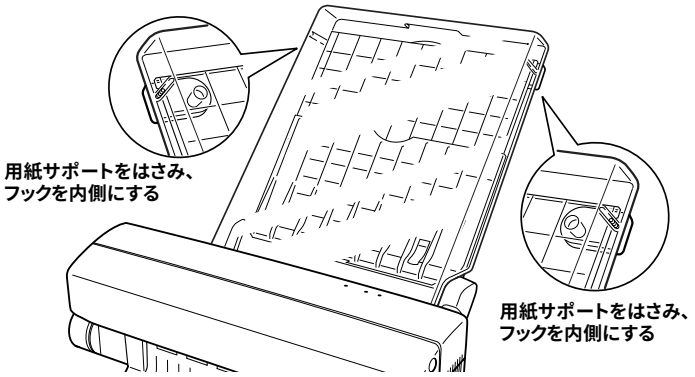
Step 7　ダストカバーをセットする

ダストカバーは、プリンタにセットした用紙やプリンタ内部へのホコリ付着を防止します。ホコリ付着は、印字結果に影響を与えるだけではなく、様々な障害の原因となります。ダストカバーは、印字するときや、プリンタを使用しないときにも使用します。

▼ ダストカバーのフック2ヶ所を外側にして、プリンタにセットする。このとき、ダストカバーをプリンタの突起部分に引っかける。



▼ ダストカバーのフック2ヶ所で用紙サポートをはさみ、フック2ヶ所を内側にする。



Step 8 プリンタを設置する

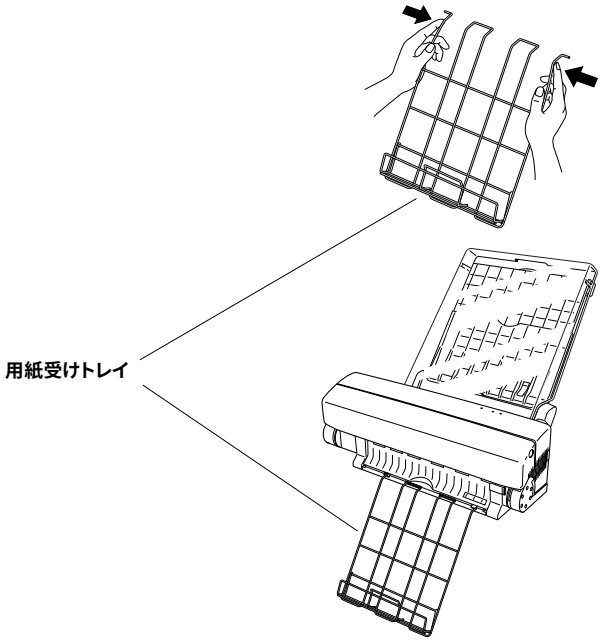
「安全上のご注意」の「注意」および「使用上の注意」をよくお読みになり、適切な場所に設置してください。用紙受けトレイをセットする場合や用紙サポートを引き出した場合も考えて、周囲に十分なスペースを確保します。

注意

用紙受けトレイをセットする場合、机などの高さを考慮して設置します。

用紙受けトレイをセットするには

印字を行うときには、用紙受けトレイをセットして使います。
用紙受けトレイの先端を矢印のように狭めてプリンタの受け口にセットしてください。



Step 9　プリンタとコンピュータを接続する

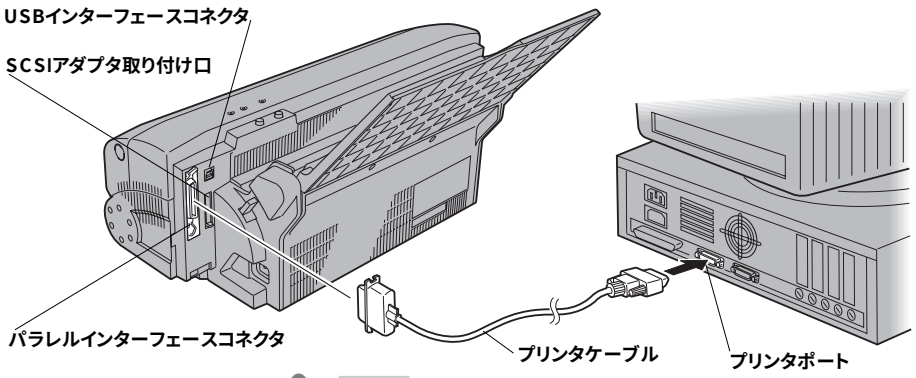
Windowsでパラレル接続を行う場合

注意

WindowsでUSB接続を行う場合は、第2章の「プリンタドライバをインストールする」をお読みください。

▼ コンピュータの電源がOFFになっていることを確認する。コンピュータが起動している場合はいったん終了し、電源をOFFにする。

▼ 次にプリンタケーブルでプリンタとコンピュータを接続し、固定ねじと固定金具でしっかりと固定する。



注意

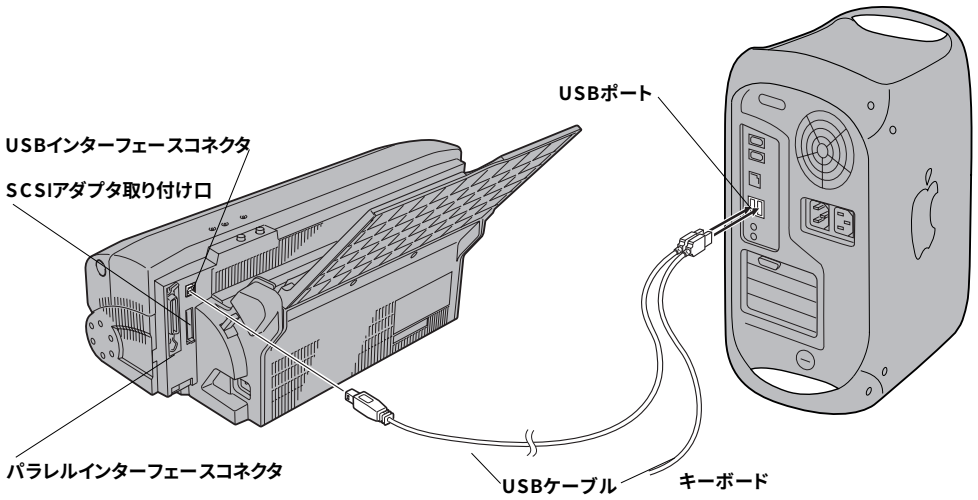
- **プリンタバッファや切換器を使用すると、正しく印字されないことがあります。**
- **Windows環境でのSCSI接続には対応していません。**
- **パラレル接続からUSB接続に変更する場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をOFFにしてからケーブルを接続してください。**

Step 9 プリンタとコンピュータを接続する

MacintoshでUSB接続を行う場合

▼ コンピュータの電源がOFFになっていることを確認する。コンピュータが起動している場合はいったん終了し、電源をOFFにする。

▼ 次にUSBケーブルでプリンタとコンピュータを接続する。



注意

延長ケーブルを使用すると、正しく印字されないことがあります。

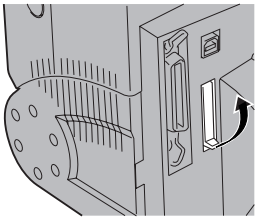
Step 9　プリンタとコンピュータを接続する

MacintoshでSCSI接続を行う場合

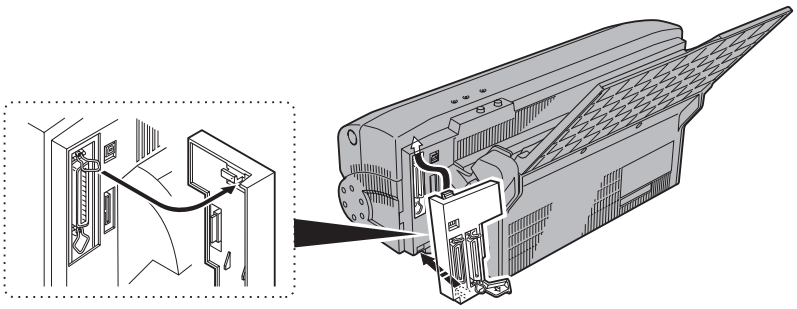
MacintoshでSCSI接続をする場合は、オプションのSCSIアダプタを取り付ける必要があります。

Step 9-1　SCSIアダプタの取り付け方

▼ SCSIアダプタ取り付け口にあるカバーを取り外す。



▼ 次にSCSIアダプタのコネクタをプリンタのSCSIコネクタ取り付け口に差し込み、アダプタ全体をはめ込む。



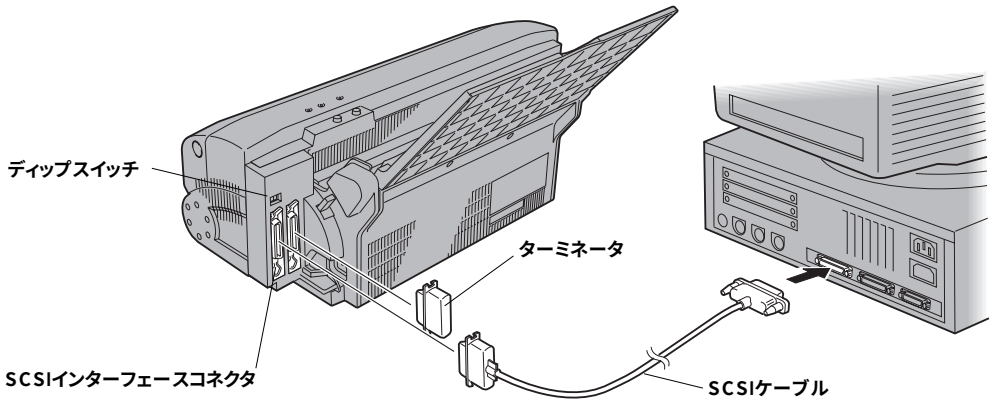
注意

- **SCSIケーブル、ターミネータは、SCSIアダプタを取り付けた後に接続してください。**
- **SCSIアダプタの取り付けは、必ず電源コードを接続する前に行なってください。電源コード接続後にSCSIアダプタを取り付けると、故障の原因となります。**

Step 9-2　プリンタとコンピュータを接続する

▼ コンピュータの電源がOFFになっていることを確認する。コンピュータが起動している場合はいったん終了し、電源をOFFにする。

▼ 次にSCSIケーブルでプリンタとコンピュータを接続し、固定ねじと固定金具でしっかりと固定する。また、本プリンタがSCSI周辺機器の終端となる場合は、必ずターミネータを取り付ける。



注意

- **SCSIケーブルおよびターミネータの取り付け、取り外しは、必ずコンピュータと本プリンタおよびSCSI接続する周辺機器すべての電源が完全に切れている状態（電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いた状態）で行ってください。故障および誤動作の原因となります。**
- **SCSIケーブルはハイインピーダンス仕様のケーブルをお奨めします。その他のケーブルでは安定した動作が得られないことがあります。また、ターミネータはアクティブターミネータをお奨めします。**

注意　機器番号（SCSI ID）について

SCSIアダプタ出荷時の機器番号は6に設定されています。機器番号を変更する場合は、SCSIアダプタのディップスイッチで設定します。詳細は「第4章メンテナンス・仕様」の「ディップスイチの設定（MacintoshでSCSI接続する場合）」を参照してください。
本プリンタ以外のSCSI周辺機器がコンピュータと接続されている場合に、他のSCSI周辺機器の機器番号と本プリンタの機器番号が重複していると、本プリンタおよび他のSCSI周辺機器が正しく動作しません。

Step 9-3 SCSIアダプタの取り外し方

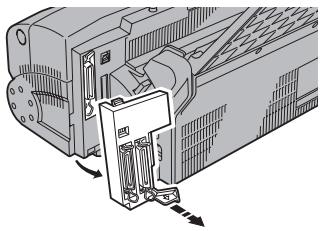
▼ コンピュータと本プリンタ及びSCSI接続する周辺機器すべての電源を切る。

▼ 電源コードを本プリンタから外す。

▼ SCSIアダプタから、SCSIケーブル、ターミネータを外す。

▼ SCSIアダプタを取り外す。

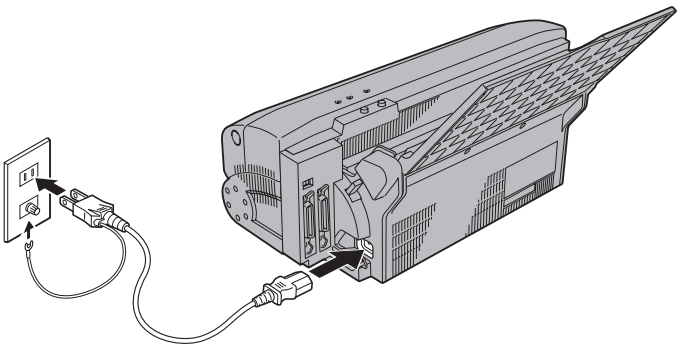
図に示すように、SCSIアダプタの矢印部分を持って手前に引っ張ります。



Step 10　電源コードを接続する

▽ 本プリンタ付属の電源コードを、プリンタの電源コード差し込み口に奥までしっかりと差し込む。

▽ 次に、電源コードの差し込みプラグをコンセントに差し込む。
このとき操作パネルの３つのランプがすべて点灯します。
ランプが点灯しないときは、電源コードの接続を確認してください。ランプは点灯後、数秒するとすべて消灯します。



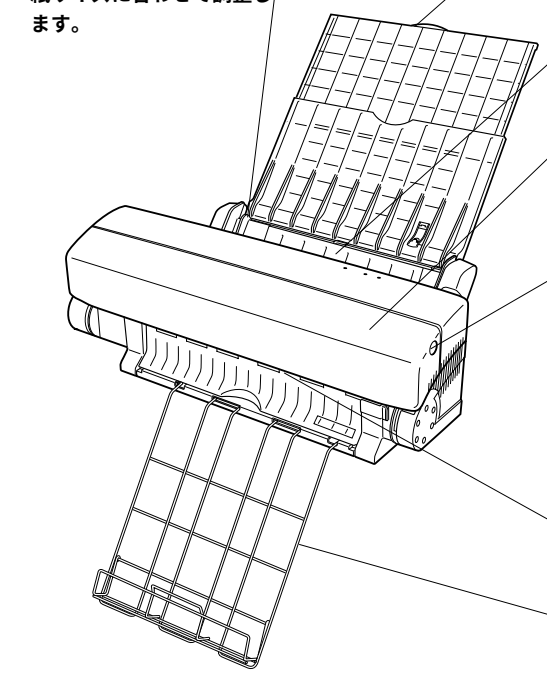
注意

- **電源コードをプリンタに差し込むと、奥まで入っていない状態でいったん止まることがあります。電源コードは、奥までしっかりと差し込んでください。**
- **本プリンタは、電源コードの差し込みプラグを抜いたときに、はじめて完全に電源が切れます。安全のため、すぐにコンセントから電源コードの差し込みプラグを抜くことができるように、本プリンタを設置してください。また、コンセントから抜くときには、必ず電源コードの差し込みプラグを持って抜いてください。**
- **本プリンタを安全に使用するために、電源コードのアース端子をコンセントのアース端子に接続してください。**
- **アース接続は、必ずプラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ずプラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。**

各部の名称とその働きについて

本プリンタの各部の名前とその働きについて説明します。本文中に出てくる各部の位置や働きを知りたいときにお読みください。

本体(前面)



用紙ガイド
用紙が横にずれないようにするためのガイドです。用紙サイズに合わせて調整します。

用紙サポート
セットした用紙が後ろにそらないように支えます。用紙サポートを引き出す場合は、用紙サポートのほぼ中央を持って引き出します。

用紙トレイ
印字する用紙をセットします。

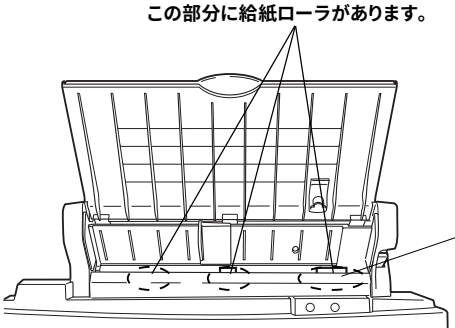
フロントカバー
内部機構を保護するためのカバーです。印字を行うときはフロントカバーを閉じて行います。

フロントカバーイジェクトボタン
このボタンを押すと、フロントカバーが開きます。インクカセットの交換、紙づまりのときなどに開けます。フロントカバーを開けるときは、フロントカバーに手を添えながら静かに開けます。フロントカバーを閉めるときは、フロントカバーの両端を持ち上げて静かに閉めます。

排紙開口部
印字済みの用紙が出てきます。

用紙受けトレイ
印字済みの用紙を受け止めるトレイです。プリンタにセットして使用します。なお、用紙受けトレイの受け口の位置は用紙の長さに合わせて調整します。

この部分に給紙ローラがあります。



給紙ローラ
用紙トレイにセットした用紙を給紙させるためのローラです。(波線の部分に合計5ヶ所)

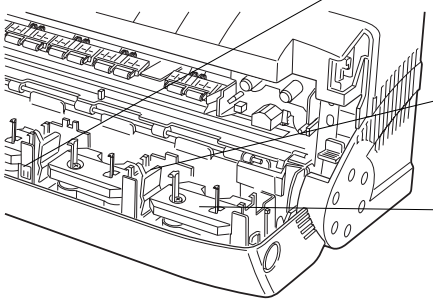
注意

プリンタが動作しているときに内部に手を入れないでください。ケガの原因となります。

注意

プリンタが動作しているときにフロントカバーを開けないでください。フロントカバーを開けることによって、印字途中の用紙が折れたり、インクカセットが外れたりすることがあります。ただし、印字中にインクカセット交換の指示があったときは、フロントカバーを開けてもかまいません。このときは、用紙が折れたり、インクカセットが外れたりする心配はありません。

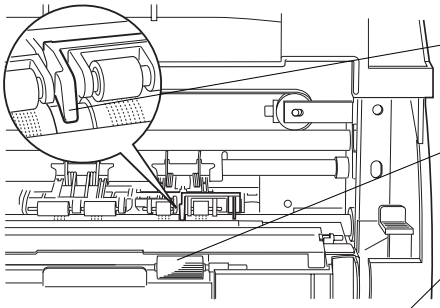
本体(内部)



マーカーシール(黒と銀のシール)
キャリッジの基準位置を確認するためのシールです。汚さないでください。汚れた場合は、乾いた綿棒で軽く拭き取ります。このとき、シールがはがれないように注意します。

ラッチ(青い部分)
インクカセットをインクカセットホルダに固定させます。

インクカセットホルダ
インクカセットを装着するホルダで、5ヶ所あります。1つのホルダには2巻のインクカセットが装着できますが、セットできるのは最大9巻までです。

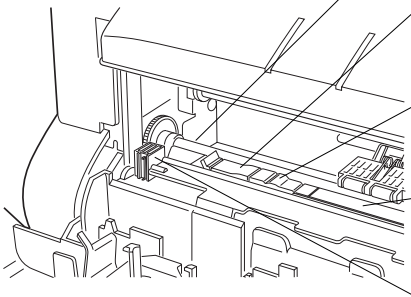


内部右側拡大図

PEレバー
紙の有無を検出するためのレバーです。

排紙ローラ
用紙を排紙するためのローラです。

用紙送りローラ(金属のローラ)
給紙された用紙を送るためのローラです。



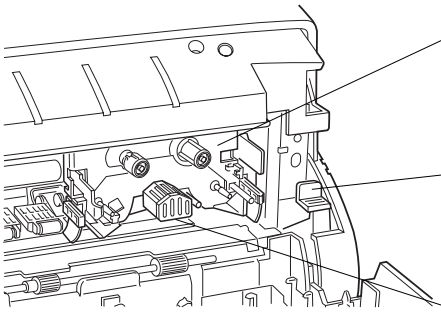
内部左側拡大図

クリーニングパッド(オレンジ)
印字ヘッドクリーニング用パッドです。取り外さないでください。

クリーニングパッド(白)
印字ヘッドクリーニング用パッドです。取り外さないでください。

プラテン
印字を行う際に、印字ヘッドが押下するゴムのプレートです。汚れた場合は、第4章の「プラテンの清掃」を参照して、清掃を行います。

オープンセンサー
フロントカバーの開閉を検出します。



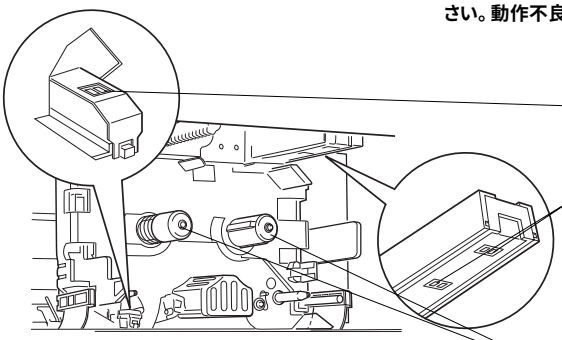
キャリッジ
インクカセットホルダから必要なインクカセットを自動的にピックアップします。キャリッジは、通常はこの位置より左側にあります。

リリースレバー(青いレバー)
紙づまりを起こしたときに使用します。レバーを下に押し下げて用紙を引き抜きます。フロントカバーを閉じると、レバーは元の位置に戻ります。

印字ヘッド
キャリッジに搭載されていて、印字を行います。清掃時以外は、印字ヘッドには触らないでください。

注意

清掃時以外は、印字ヘッドやキャリッジには触れないでください。故障の原因となります。また、キャリッジにインクカセットを直接装着しないでください。動作不良や故障の原因となります。



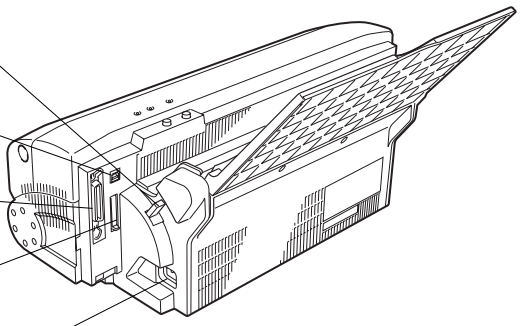
キャリジ拡大図

REセンサー（黒い部分）
インクカセットの終了を検出します。

HPセンサー（黒い部分2ヶ所）
インクカセットの種類、キャリッジの基準位置を検出します。

ボビン軸
インクカセットの巻き取りを行います。

本体（背面）



給紙切換レバー
用紙の給紙方法を切り換えます。

USBインターフェースコネクタ
USBケーブルを接続するコネクタです。

パラレルインターフェースコネクタ
パラレルケーブルを接続するコネクタです。

SCSIアダプタ取り付け口
MacintoshでSCSI接続する場合にSCSIアダプタ（オプション）を取り付けます。

電源コード差し込み口
電源コードを接続する差し込み口です。
電源コードは奥までしっかりと差し込みます。

注意

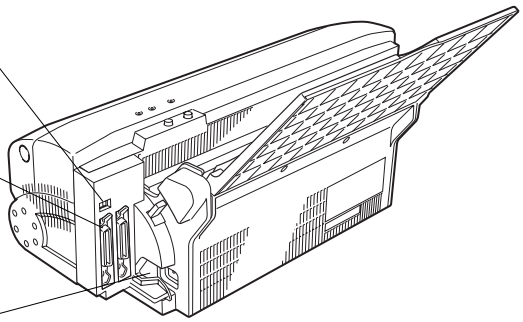
清掃時以外は、用紙トレイの中に手や印字用紙以外の物を入れないでください。ケガや故障の原因となります。

本体(背面・SCSIアダプタを取り付けた状態)

ディップスイッチ
SCSIインターフェースの機器番号を設定します。詳細は第4章の「ディップスイッチの設定」を参照してください。

SCSIインターフェースコネクタ
どちらかのポートにSCSIケーブルを接続し、コンピュータとつなぎます。本プリンタが終端の場合、もう一方のSCSIインターフェースコネクタにターミネータを取り付けます。

電源コード差し込み口
電源コードを接続する差し込み口です。
電源コードは奥までしっかりと差し込みます。

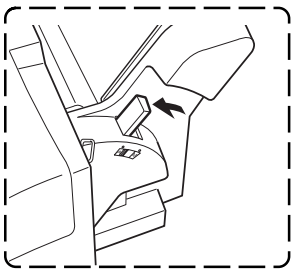


注意

清掃時以外は、用紙トレイの中に手や印字用紙以外の物を入れないでください。ケガや故障の原因となります。

給紙切換レバー

デジグラフTHに印字する場合には、給紙切換レバーを「A」に合わせます。

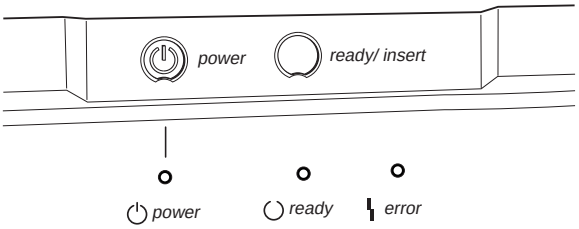


給紙切換レバー「A」の状態

注意

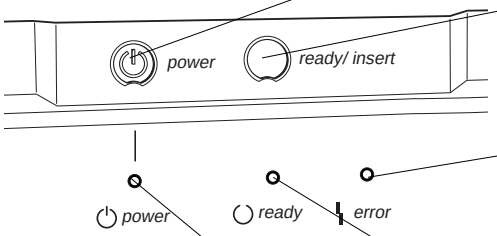
- **給紙切換レバーは、用紙を用紙トレイにセットする前に合わせてください。用紙トレイにセットした後に合わせると、用紙が正しく給紙されないことがあります。**
- **給紙切換レバーは、「A」に合わせてください。「A」に合っていないと正しく給紙されません。**

操作パネル



プリンタ本体の上部には2つのボタンと3つのLEDランプが並んでいます。

ボタンを押して用紙を排出したり、ランプの状況を確認してプリンタを操作します。これらのボタンやランプ部をまとめて操作パネルと呼びます。



***power*ボタン**
電源のオン／オフを行います。

***ready*/*insert*ボタン**
給紙切換レバーを「M」に合わせたとき、用紙の給紙／排出を行います。なお、「A」に合わせたときは給紙されません。

***error*ランプ**
本プリンタに何らかのエラーが発生したときに点滅します。エラーの内容については、モニタに表示されます。なお、片方向インターフェースに設定されている場合は、エラーの内容についてはモニタに表示されないことがあります。

***ready*ランプ**
印字状態を表わします。
点灯：　印字可能な状態です。
ゆっくり点滅：　印字中です。
消灯：　印字は停止中です。

***power*ランプ**
電源のオン／オフ状態を表示します。ランプが点灯すると電源がオンの状態です。なお、電源ランプが消灯している状態でも、内部に必要な電源が多少供給されています。完全に電源を切るときは、電源コードをコンセントから抜きます。

インクカセットの取り扱い方

ここではインクカセットの種類・装着･交換方法について説明します。

インクカセットの種類を確認する

デジグラフTHに使用できるインクカセットは下記のインクカセットです。

デジグラフTH用インクカセット

インクカセットを装着する

参考 （インクカセットの装着位置について）

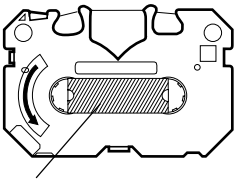
- **装着するインクカセットホルダは5カ所のうちどこでもかまいません。**
- **インクカセットを複数装着することで、インクカセット交換の手間が省けます。**

注意

- **インクカセットをキャリッジに直接装着しないでください。故障や破損の原因となります。**
- **装着できるインクカセットは、最大9巻です。10巻装着すると印字できません。**

Step 1　インクカセットのストッパを取り外す

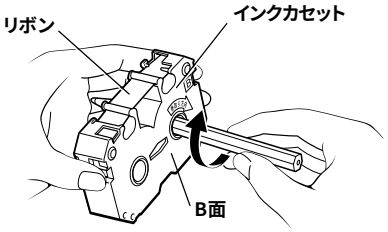
インクカセットについているストッパを取り外します。



ストッパ（リボンのたるみ止め用）

Step 2　リボンのたるみをなくす

インクカセットのB面(型番が印字されている面)から、下図のように右側に鉛筆などを差し込んで、時計回り(巻取方向)に少しだけ回してリボンのたるみを取り除きます。

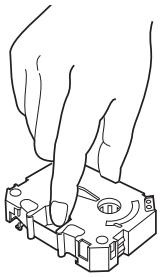


Step 3 フロントカバーを開ける

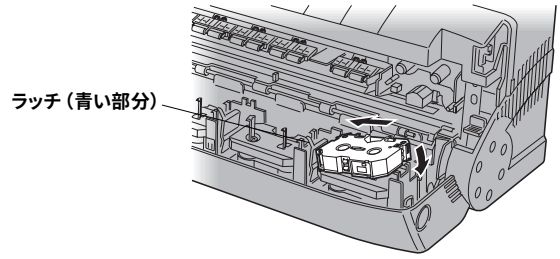
フロントカバーイジェクトボタンを押し、内部のロックが外れたら手を添えて静かに開けます。

Step 4 １巻めのインクカセットをセットする

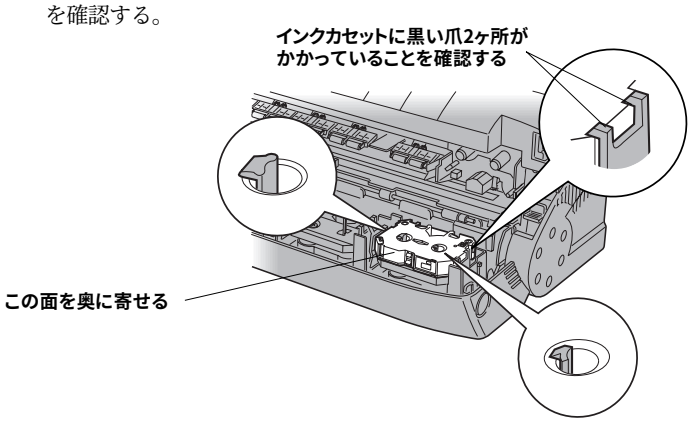
▼ インクカセットの中央部分を親指と人差し指でつかみ、インクカセットのB面(型番が印字されている面)を上側にしてセットする。



▼ インクカセットの左側面をインクカセットホルダの左端にあるラッチ(インクカセットを固定する青い部分)を押すように差し込み、インクカセットの右側部分を上から押し込むようにしてインクカセット全体をセットする。



▼ インクカセットがインクカセットホルダの白い爪、青い爪および黒い爪2ケ所にしっかりとかかっていること、リボンにたるみのないことを確認する。



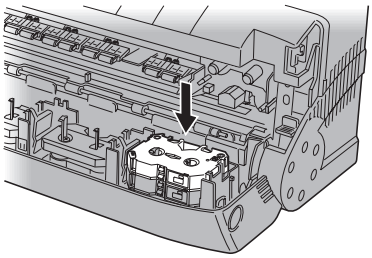
注意

B面（型番が印字されている面）を上にセットしてください。B面を下向きにセットすると、インクカセットが逆装着と判断されます。

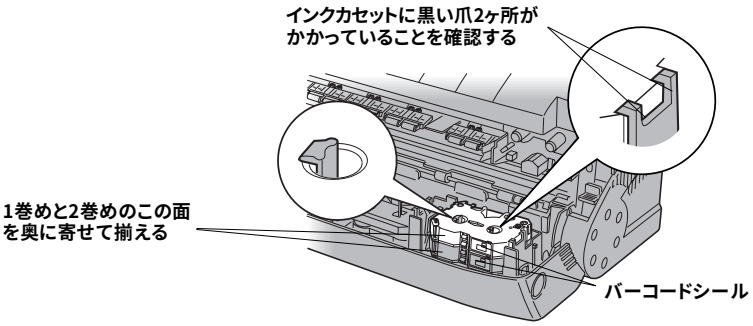
Step 5　２巻めのインクカセットをセットする

1巻めと同様、インクカセットの中央部分を親指と人差し指でつかみ、インクカセットのB面(型番が印字されている面)を上側にしてセットする。

1巻めのインクカセットの上に2巻めのインクカセットを置く。



次にインクカセットホルダの白い爪、青い爪および黒い爪2ケ所にかかるまで、静かにインクカセットのほぼ中央を押す。



注 意

- **インクカセットをキャリッジに直接装着しないでください。故障や破損の原因となります。**
- **装着できるインクカセットは、最大9巻です。10巻装着すると印字できません。**
- **1巻めと2巻めのカセットは、バーコードシールがある面を奥に寄せて、上下の位置を揃えてください。位置を揃えないと、カセットチェンジエラーになることがあります。**

インクカセットを交換する

他の種類のインクカセットに交換したいときやインクカセットが終了したときには次の手順でインクカセットを交換します。

注意

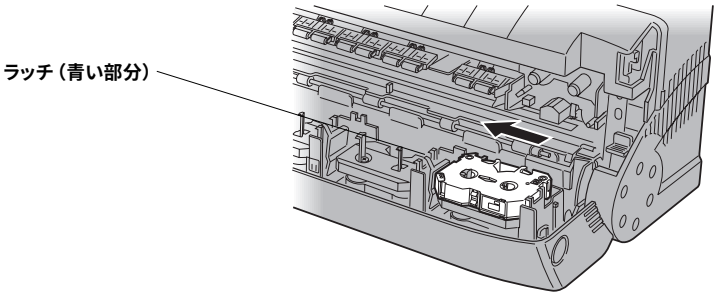
- **インクカセットが終了するとモニタにメッセージが表示され、errorランプが点滅します。**
- **終了したインクカセットは、取り外します。**

Step 1 フロントカバーを開ける

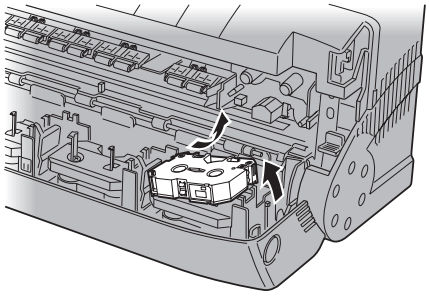
フロントカバーイジェクトボタンを押し、内部のロックが外れたら手を添えて静かに開けます。

Step 2 交換するインクカセットを取り外す

▼ インクカセットの中央を親指と人差し指でつかみ、ホルダの左端にあるラッチを押すようにインクカセットを左に押しつける。



▼ インクカセットの右側部分を上に持ち上げるようにしてインクカセット全体を取り外す。



Step 3　新しいインクカセットをセットする

前項「インクカセットを装着する」をお読みになり、インクカセットを装着します。

Step 4　インクカセットのたるみを確認する

インクカセットホルダにセットされている、全てのインクカセットのたるみを確認します。たるみがある場合は、一度インクカセットをカセットホルダから取り外し、たるみを取り除きます。

注意

たるみがあるままフロントカバーを閉じると、インクカセットのリボンを損傷することがあります。

参考（インクカセット残量表示について）

- **Kimosetter 340iでは、インクカセットの自動残量検出機能が付いております。自動残量検出機能は、Kimosetter 340i本体の電源コードの抜き差し時、および、フロントカバーの開閉時に毎回検出を行います。また、インクカセットの残量が20%になった時に、Kimosetter 340i本体の電源コードの抜き差し、あるいは、フロントカバーの開閉を行うと、残量が20%のインクカセットは0%の表示に更新され、インクカセットが使用できなくなりますのでご注意ください。**
- **インクカセットを効率的にご使用していただくために、モニターのメッセージに「インクカセットが無くなりました」という表示が出るまでは、Kimosetter 340i本体の電源コードの抜き差し、フロントカバーの開閉はできる限り避けてご使用していただくことをお奨めいたします。**

キャリッジからインクカセットが外れないとき

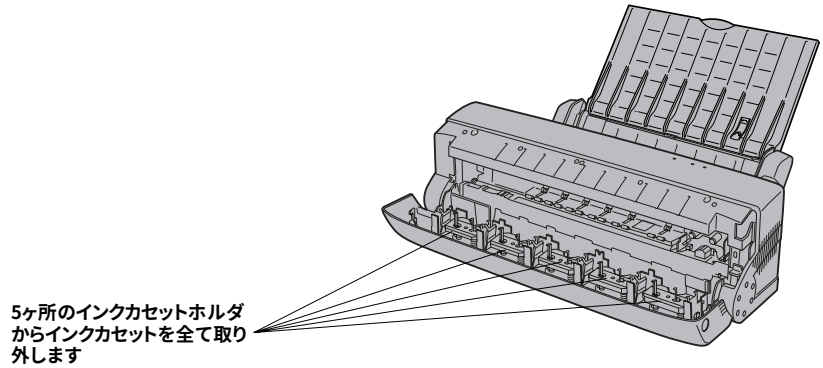
次の手順でインクカセットを取り外します。

Step 1 プリンタの電源を切る

Step 2 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押してフロントカバーを開けます。

Step3 インクカセットホルダからインクカセットを全て取り外す



Step 4 フロントカバーを閉じる

Step 5 プリンタの電源を入れる

プリンタの電源を入れると、キャリッジにあるインクカセットを、インクカセットホルダに戻す動作を行います。正常に戻るとpowerランプとreadyランプが点灯します。

注意

- **インクカセットホルダに戻らない場合は、errorランプが点滅します。**

Step 6 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトを押してフロントカバーを開けます。

Step 7 確認を行う

キャリッジにあったインクカセットがインクカセットホルダにあることを確認します。

上記の方法でキャリッジからインクカセットが外れない場合は、次の手順でキャリッジからインクカセットを取り外します。

キャリッジからインクカセットを取り外す場合

次の手順でインクカセットを取り外します。

Step 1　プリンタの電源を入れる

キャリッジにインクカセットがあるため、*error*ランプが点滅します。

Step 2　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

Step 3　プリンタの電源を切る

Step 4　プリンタの電源を入れる

Step 5　*ready/insert*ボタンを押す

*ready/insert*ボタンを約3秒間押し続けると、インクカセットが前面に出てきます。

Step 6　インクカセットを取り外す

*ready/insert*ボタンを押したまま、インクカセットを左側に寄せながら、ゆっくり手前に取り外します。

Step 7　*ready/insert*ボタンから手を離す

インクカセットを取り外した後、*ready/insert*ボタンから手を離します。約5秒後に、キャリッジの前面に出ていた部分が戻ります。

Step 8　*フロントカバーを閉じる*

キャリッジの前面に出ていた部分が戻ったことを確認した後に、フロントカバーを静かに閉めます。

用紙をセットする

ここでは用紙の種類の確認と用紙のセット方法について説明します。

用紙の種類を確認する

デジグラフTHで1枚の用紙を自動給紙できます。

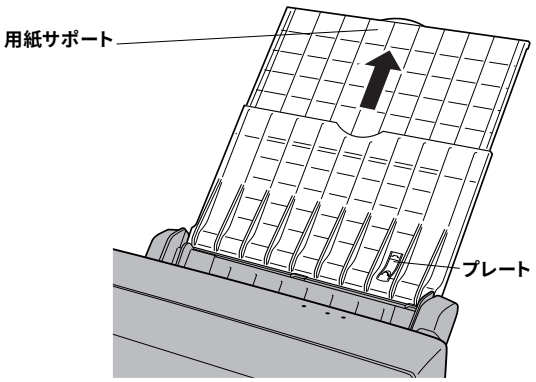
用紙の種類	連続給紙
デジグラフTH	A*1

*1　デジグラフTHは自動給紙を行うことができますが、セットは1枚のみにしてください。

デジグラフTHに印字するには

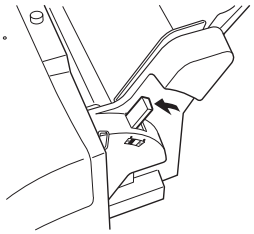
Step 1　用紙サポートを引き出す

プレートが立っていないことを確認し、用紙サポートを引き出します。



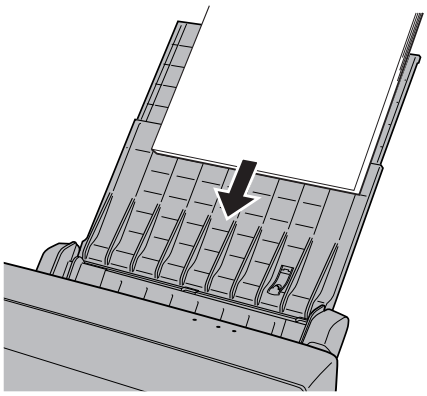
Step 2　給紙方法を確認する

給紙切換レバーを「A」に合わせます。



Step 3　用紙をセットする

用紙ガイドを用紙サイズよりも少し広げ、右端に揃うように用紙を差し込みます。このとき印字面を上にします。

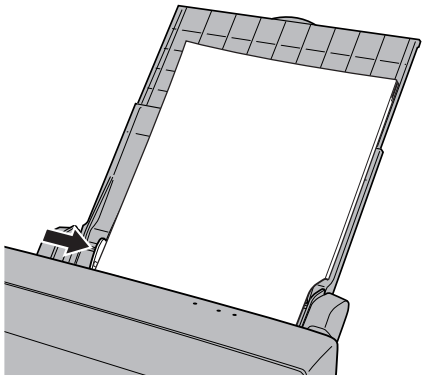


参考

- **用紙はそりやゆがみのないようにしてください。給紙不良の原因となることがあります。**

Step 4　用紙ガイドを用紙サイズに合わせる

用紙の幅に合わせるように用紙ガイドを動かします。用紙ガイドを押しすぎて用紙が折れ曲がったり、用紙ガイドと用紙の間にすき間を空け過ぎないように位置を調整します。



Step 5　ダストカバーをセットする

本章「プリンタの準備をしよう」Step7を参照して、ダストカバーをセットします。ダストカバーは、プリンタにセットした用紙やプリンタ内部へのホコリ付着を防止します。

電源のオンとオフの手順

プリンタとコンピュータの電源は次の手順でオン／オフを行います。

電源を入れるとき

Step 1 プリンタの電源を入れる

本プリンタの*power*ボタンを押します。*power*ランプと*ready*ランプが点灯します。

Step 2 コンピュータを起動する

電源を切るとき

Step 1 コンピュータを終了する

Step2 プリンタの電源を切る

本プリンタの*power*ボタンを押します。すべてのランプが消灯します。

第2章
プリンタドライバをインストールする

ここでは、コンピュータへのプリンタドライバのインストール方法、プリンタドライバの設定を説明します。お使いのOS（Windows、Macintosh）に対応したページをお読みください。

プリンタドライバをインストールする（Windowsの場合）

本プリンタで印字するためにはプリンタドライバ（コンピュータからプリンタを制御するためのソフトウェア）が必要です。
使用するプリンタの持つ能力に合わせた専用のプリンタドライバがコンピュータにインストールされていないと、そのプリンタで印字することはできません。また、複数のプリンタドライバがインストールされているような場合、使用するプリンタドライバを選ぶ必要があります。

動作環境

プリンタドライバを正しく動作させるためには、以下のシステム環境が必要です。

適応機種：　IBM PC-ATおよび互換機(DOS/V機)

Windows：

パラレル接続：Windows 95 / Windows 98 / Windows Me / Windows NT4.0 / Windows 2000 / Windows XP

USB接続　：Windows 98 /Windows Me / Windows 2000 / Windows XP

印字時のワークディスク容量： 25MB

メモリ構成：

Windows 95 / Windows 98 / Windows Me / Windows NT4.0 / Windows 2000
：推奨64MB以上

Windows XP　：推奨128MB以上

参考

印字時のワークディスク領域は印字完了後に自動的に解放されます。

プリンタドライバのインストール（パラレル接続の場合）

本プリンタに同梱の「セットアップCD-ROM」からプリンタドライバのインストールを行ってください。

Step 1　「セットアップ」CD-ROMをセットする

コンピュータの電源を入れ、Windowsが起動したら、「セットアップCD-ROM」をセットします。

Step 2　インストーラを起動する

「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。

Step 3　メニューを開く

メニューが開きますので、画面の指示に従ってインストールします。

注意

[新しいハートウェアの追加ウィザード]ダイアログが表示されてしまった場合は、[キャンセル]をクリックしてダイアログを閉じた後、インストーラを起動してください。

プリンタドライバのインストール(USB接続の場合)

本プリンタに同梱の「セットアップCD-ROM」からプリンタドライバのインストールを行ってください。

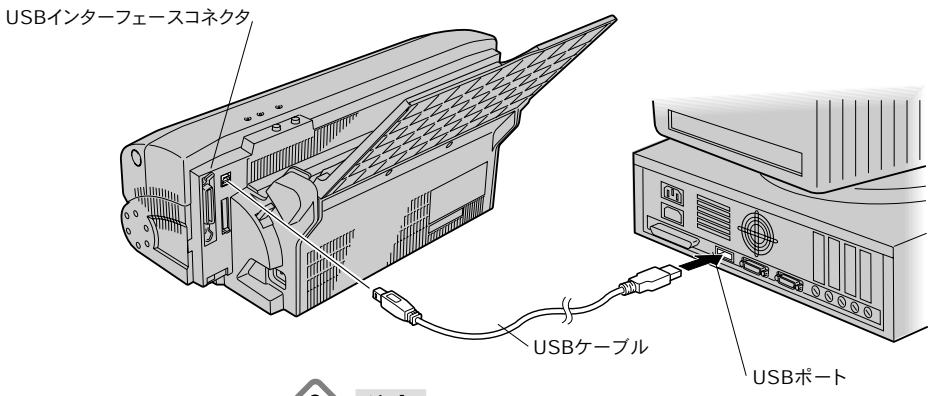
注意

複数台のプリンタをUSB接続することはできません。

Step 1　プリンタの電源を切る

Step 2　セットアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

Step 3　USBケーブルでプリンタとコンピュータを接続する



注意

延長ケーブルを使用すると、正しく印字されないことがあります。

Step4以降の操作手順は、Windows環境により異なります。該当箇所をお読みください。

Windows 98 / Me / 2000の場合

Step 4　CD-ROMからインストーラを起動する

「Setup.exe」プログラムアイコンをダブルクリックします。

Step 5　メニューを開く

メニューが開きますので、画面の指示に従ってインストールします。

Step 6　プリンタの電源を入れる

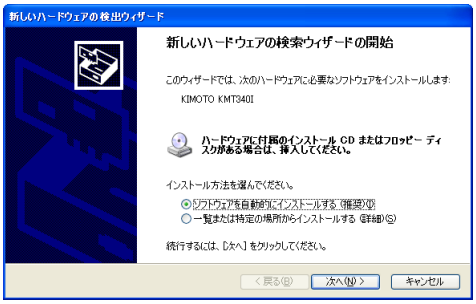
注意

[新しいハートウェアの追加ウィザード]ダイアログが表示されてしまった場合は、[キャンセル]をクリックしてダイアログを閉じた後、インストーラを起動してください。

Windows XPの場合

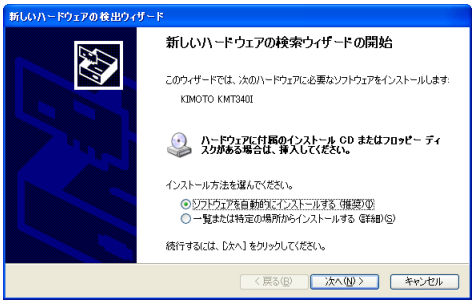
Step 4　プリンタの電源を入れる

コンピュータがUSBケーブルを検出して、USBクラスドライバがインストールされた後、[新しいハードウェアの検出ウィザード]ダイアログが表示されます。



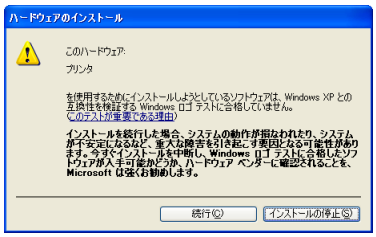
Step 5　[次へ]をクリックする

CD-ROMがCD-ROMドライブにセットされ、[ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]が選択されていることを確認して、[次へ]をクリックします。



Step 6 [続行]をクリックする

[ハードウェアのインストール]ダイアログが表示されます。[続行]をクリックします。プリンタドライバのインストールが開始されます。



注意

[ハートウェアのインストール]ダイアログで、上記のような警告メッセージが表示されますが、そのまま[続行]をクリックしてください。

Step 7 インストールを終了する

プリンタドライバのインストールが完了すると、次の画面が表示されます。[完了]をクリックします。

印字する

デジグラフTHに印字する

以下のインクカセット、用紙を用意します。

- **インクカセット**
  デジグラフTH用インクカセット
- **用紙**
  デジグラフTH

Step 1　印字するデータを用意する

任意のアプリケーションを使用して、文字やイラストが入ったデータを作成します。

Step 2　インクカセットをセットする

第1章「インクカセットの取り扱い方」に従ってセットします。
インクカセットは、どこのホルダにセットしてもかまいません。

注意

インクカセットを直接キャリッジにセットしないでください。プリンタの故障の原因となります。

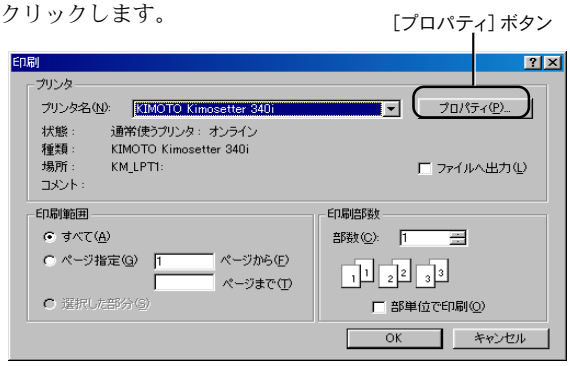
Step 3　デジグラフTHをセットする

第1章「用紙をセットする」に従ってデジグラフTHをセットします。

- ▽ 給紙切換レバーを「A」に合わせる
- ▽ 用紙サポートを引き出す
- ▽ デジグラフTHを用紙トレイにセットする
- ▽ 用紙ガイドを用紙幅に合わせる
- ▽ ダストカバーをセットする

Step 4 設定ダイアログを開く

［ファイル］メニューの［印刷...］を選択し、［印刷］ダイアログで［プロパティ］ボタンをクリックします。



Step 5 用紙サイズなどを設定する

▼ ［基本設定］タブを表示させる

▼ ［用紙サイズ］を設定する

［用紙サイズ］を印字するデジグラフTHのサイズに設定する。

▼ ［ハーフトーン］を設定する

［ハーフトーン］を［60lpi］［85lpi］のいずれかに設定する。

▼ 必要に応じて各項目を設定する

［印刷の方向］［印刷部数］を必要に応じて設定する。

Step 6 印字を開始する

印刷ダイアログで設定を行った後、［OK］をクリックして印字を開始します。

プリンタドライバをインストールする（Macintoshの場合）

本プリンタで印字するためにはプリンタドライバ（コンピュータからプリンタを制御するためのソフトウェア）が必要です。
使用するプリンタの持つ能力に合わせた専用のプリンタドライバがコンピュータにインストールされていないと、そのプリンタで印字することはできません。また、複数のプリンタドライバがインストールされているような場合、使用するプリンタドライバを選ぶ必要があります。

動作環境

プリンタドライバを正しく動作させるためには、以下のシステム環境が必要です。

適応機種：	CPU:68040またはPowerPCプロセッサを搭載し、Mac OSで動作するコンピュータ
オペレーティングシステム：	Mac OS 7.6.1以降Mac OS 9.2.2まで
印字時のワークディスク容量：	10MB
メモリ構成：	最低32MB以上（推奨64MB以上）

参考

印字時のワークディスク領域は印字完了後に自動的に消去されます。

プリンタドライバのインストール

本プリンタに同梱の「セットアップCD-ROM」からプリンタドライバのインストールを行ってください。

Step 1　「セットアップCD-ROM」をセットする

コンピュータに「セットアップCD-ROM」をセットします。

Step 2　インストーラを起動する

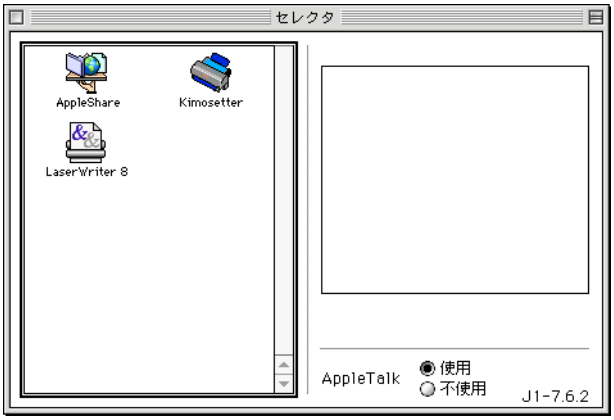
[Kimosetter Installer]アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

プリンタドライバを選ぶ

プリンタドライバをインストールした後は、　プリンタドライバを使用できる状態にするための作業を行います。

Step 1　セレクタを開く

[アップル]メニューから[セレクタ]を選択すると、インストールされているプリンタドライバが表示されます。



セレクタの表示例

Step 2 プリンタドライバを選ぶ

Kimosetterのアイコンをクリックします。右側のポートの選択にプリンタと接続されている機器番号が反転表示されます。(A)の部分が反転表示されていないときは、(A)の部分をマウスでクリックして反転表示させます

(A)の部分をマウスでクリックして確定します。

注意

1回のクリックで反転表示にならない場合は、数回繰り返してください。(A)の部分が反転表示にならないと、プリンタは使用できません

参考

- **SCSIが2系統ある場合は、「SCSI#6 BUS#1」と表示されます。**
- **インストール直後の設定では、バックグランドプリントの設定は「切」になっています。バックグランドプリントを利用する場合は、「入」のボタンをクリックします。**

Step 3 セレクタを閉じる

[セレクタ]のクローズボックスをクリックします。他のプリンタドライバから変更した場合、プリンタ選択が変更されたことを知らせるダイアログボックスが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

参考

プリンタの選択は一度行うと、プリンタを変更しない限りセレクタを操作する必要はありません。使用するプリンタを変更するときは、再びセレクタで使用するプリンタの選択を行います。

印字する

デジグラフTHに印字する

以下のインクカセット、用紙を用意します。

- **インクカセット**
  デジグラフTH用インクカセット
- **用紙**
  デジグラフTH

Step 1　印字するデータを用意する

任意のアプリケーションを使用して、文字やイラストが入ったデータを作成します。

Step 2　インクカセットをセットする

第1章「インクカセットの取り扱い方」に従ってセットします。
インクカセットは、どこのホルダにセットしてもかまいません。

注意

インクカセットを直接キャリッジにセットしないでください。プリンタの故障の原因となります。

Step 3　デジグラフTHをセットする

第1章「用紙をセットする」に従ってデジグラフTHをセットします。

- 給紙切換レバーを「A」に合わせる
- 用紙サポートを引き出す
- デジグラフTHを用紙トレイにセットする
- 用紙ガイドを用紙幅に合わせる
- ダストカバーをセットする

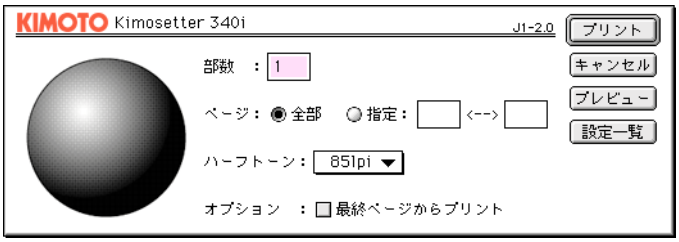
Step 4　用紙のサイズを設定する

［ファイル］メニューの［用紙設定...］を選択し、［用紙設定］ダイアログを表示します。

- ［サイズ］を設定する
  ［サイズ］を印字するデジグラフTHのサイズに設定する。
- 設定終了後、［OK］ボタンをクリックする

Step 5 [印字]ダイアログを開く

[ファイル]メニューから[プリント...]または[印刷...]を選択し、[印字]ダイアログを表示します。



▼ [ハーフトーン]を設定する

[ハーフトーン]を[60lpi][85lpi]のいずれかに設定する。

▼ 必要に応じて各項目を設定する

[部数]などを必要に応じて設定する。

Step 6 印字を開始する

設定終了後、[印字]ダイアログで[プリント]をクリックして印字を開始します。

第3章
プリンタドライバ

本章では、プリンタの動作を設定するために必要なプリンタドライバの設定方法やその機能について説明します。

プリンタドライバの機能（Windowsの場合）

「KIMOTO Kimosetter 340i」ダイアログの表示方法

以下にいくつかの方法を説明します。

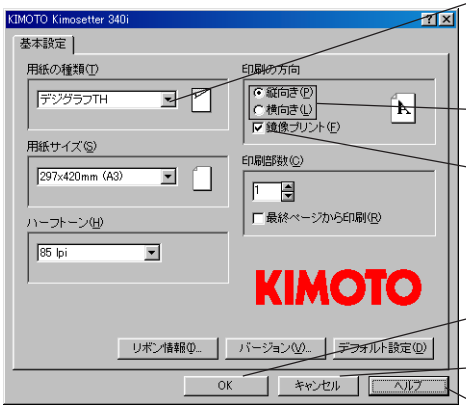
［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、［印刷］ダイアログで［プロパティ］ボタンをクリックします。アプリケーションによっては［印刷］ではなく［プリント］というメニュー項目になっていることもあります。

［ファイル］メニューから［ページ設定］を選び、［ページ設定］ダイアログの［プリンタの設定］ボタンをクリックします。さらに表示されたダイアログで［プロパティ］ボタンをクリックします。

ポイント

［プリンタの設定］ダイアログでは、使用するプリンタが［KIMOTO Kimosetter 340i］に設定されていることが必要です。設定されていない場合は、通常使用するプリンタに設定してください。

「KIMOTO Kimosetter 340i」ダイアログの各部の名称と機能



▼コンボボックス

複数の選択肢から１つを選びます。クリックすると選択肢が一覧表示されますので、設定したい項目をクリックします。

ラジオボタン

複数項目のうち、１つだけを設定することができます。

チェックボックス

表示されている機能をオン、またはオフにします。ボックスの中をクリックし、マークが付くとオン、マークを外すとオフになります。

［OK］ボタン

変更した内容を設定し、ダイアログを閉じます。

［キャンセル］ボタン

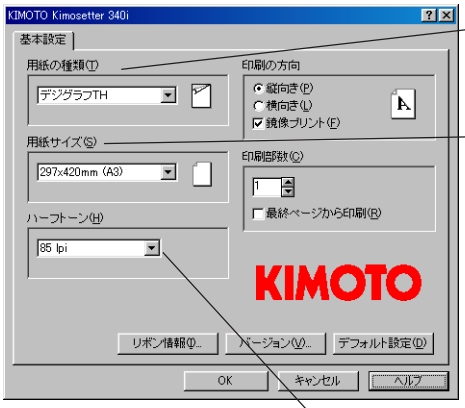
変更した内容を破棄し、ダイアログを閉じます。

［ヘルプ］ボタン

KIMOTO Kimsetter 340i ダイアログの設定内容の説明を表示します。

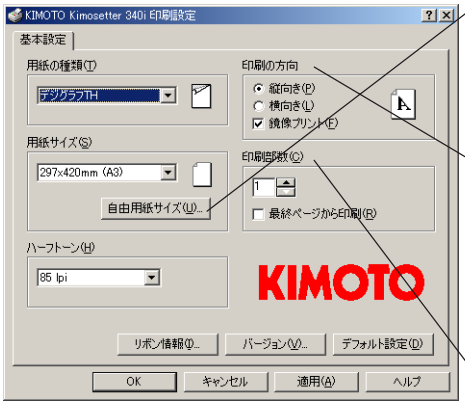
基本設定タブの設定

用紙の種類、用紙サイズ、ハーフトーン、印字の方向、印字部数の設定を行います。

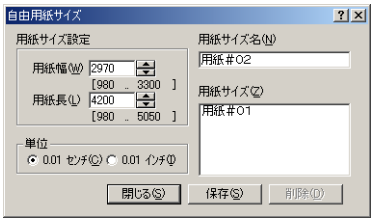


Windows95/98/Me の場合

［自由用紙サイズ］ダイアログ
（Windows95/98/Me）



WindowsNT / 2000 / XPの場合



［自由用紙サイズ］ダイアログ
（WindowsNT / 2000 / XP）

●用紙の種類

・デジグラフTH

デジグラフ TH のみです。

●用紙サイズ

用紙のサイズを▼ボタンでコンボボックスから選択します。選択できるサイズは以下のとおりです。

- **148×210mm（A5）**
- **210×297mm（A4）**
- **297×420mm（A3）**
- **328×453mm**
- **330×485mm**
- **自由用紙サイズ（Windows95 / 98 / Me）**

［自由用紙サイズ］に設定すると、［自由用紙サイズ］ダイアログが表示されます。
用紙幅と用紙長を設定します。単位はミリとインチが設定できます。保存する場合は、用紙幅と用紙長を設定した後に、［用紙サイズ名］を入力して［保存］ボタンをクリックします。最大 10 種類まで保存できます。削除する場合は、［用紙サイズ］から削除する名称をクリックして、［削除］ボタンをクリックします。なお、設定できるサイズは最大で用紙幅 330mm、用紙長 505mm です。

●ハーフトーン

画像の持つハーフトーンの階調処理を設定します。単位は［lpi］で、スクリーン線数で表します。［60lpi］［85lpi］の 2 種類があります。

●自由用紙サイズ（WindowsNT / 2000 / XP）

用紙幅と用紙長を設定します。単位はセンチとインチが設定できます。保存する場合は、用紙幅と用紙長を設定した後に、［用紙サイズ名］を入力して［保存］ボタンをクリックします。最大 10 種類まで保存できます。削除する場合は、［用紙サイズ］から削除する名称をクリックして、［削除］ボタンをクリックします。なお、設定できるサイズは最大で用紙幅 330mm、用紙長 505mm です。

●印刷の方向

印字の方向などを設定します。

・縦向き/横向き

用紙の向きをラジオボタンで、［縦向き］か［横向き］のいずれかを設定します。

・［鏡像プリント］チェックボックス

左右を逆転させて印字します。

●印刷部数

印字する部数や印字の方法を設定します。

・印刷部数入力ボックス

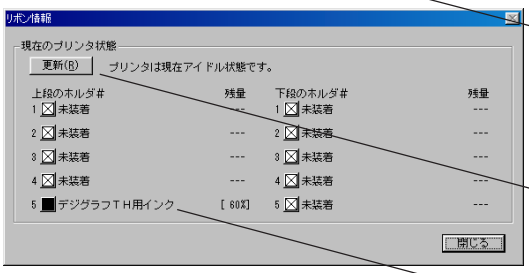
印字する部数を入力ボックスに入力するか、▲▼ボタンをクリックして設定します。

・［最終ページから印刷］

最後のページから先に印字します。

●[デフォルト設定]ボタン
プリンタドライバの設定内容を初期化します。

●[バージョン]ボタン
プリンタドライバのバージョンに関する情報を確認できます。



［リボン情報］ダイアログ（Windows95/98/Me）

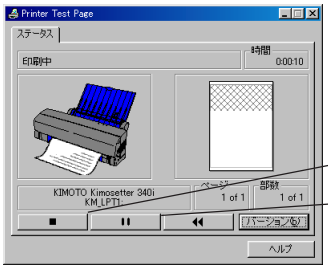
●[リボン情報]ボタン
[リボン情報]ダイアログを表示します。（Windows 95 / 98 / Me）
ステータスモニタの[リボン情報]タブを表示します。（Windows NT / 2000 / XP）

・**[更新]ボタン**
指定されたインクカセット情報を更新します。ホルダを指定しない場合は残量が不明なフォルダ(??と表示)の情報のみを更新します。

・**[インクカセット選択]ボタン**
情報を更新する時のインクカセットを指定します。

［リボン情報］ダイアログ（WindowsNT / 2000 / XP）

・**[印刷開始時にアイコン化する]チェックボックス（Windows NT / 2000 / XP）**
印字開始時にステータスモニターをアイコン化するかどうかを選択します。



ステータスモニタ（Windows95 / 98 / Me）

●ステータスモニタ
印字時に表示され、プリンタの状態を表示します。

（Windows 95 /98 / Me）

[■]ボタン
印字を中止します。

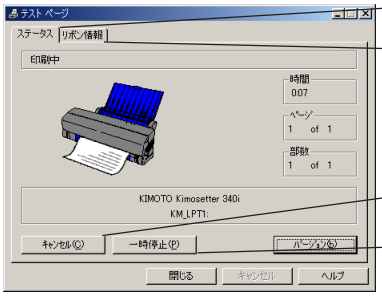
[❚❚]ボタン
印字を一時停止します。

（Windows NT / 2000 / XP）

[ステータス]タブ
印字の状態を表示します。
[リボン情報]タブ
プリンタのインクカセット情報を表示します。印字中はプリンタのインクカセット情報を表示出来ません。

[キャンセル]ボタン
印字を中止します。

[一時停止]ボタン
印字を一時停止します。



ステータスモニタ（WindowsNT / 2000 / XP）

プリンタドライバの機能（Macintoshの場合）

ここでは、プリンタドライバの機能と使い方について説明します。 主な内容は、次のとおりです。

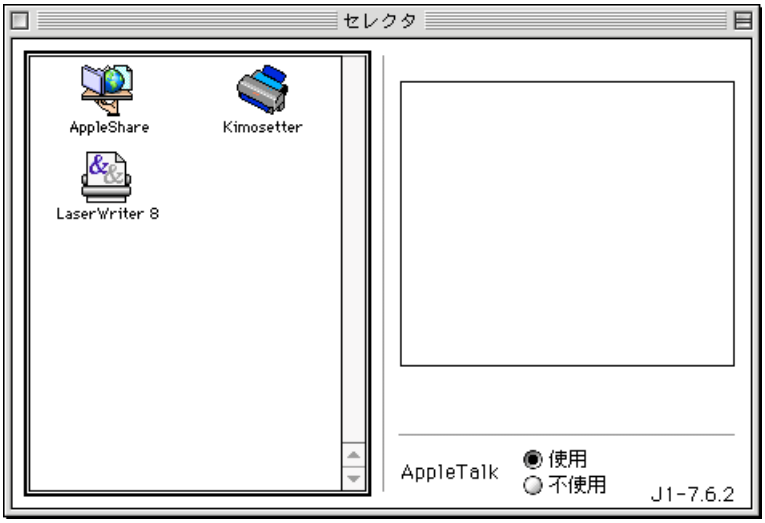
- ［セレクタ］での設定
- ［用紙設定］ダイアログ
- ［印字］ダイアログ

［セレクタ］での設定

［セレクタ］はMacintoshのシステムソフトウェアに付属しているユーティリティプログラムです。KIMOTO Kimosetter 340iをはじめてご使用になる場合や他のプリンタからKIMOTO Kimosetter 340iに切り替えて印字するときは、［セレクタ］から使用するプリンタを選択します。［セレクタ］はアップルメニューから開くことができます。そのためデスクトップを表示しているときでも、アプリケーションで作業中のときでも開くことができます。いったん使用するプリンタを［セレクタ］で選択すれば、再び［セレクタ］からプリンタを選択しなおすまでどのアプリケーションを使っていても、選択したプリンタでの印字が有効になります。

セレクタでの設定内容

［アップル］メニューから［セレクタ］を選択すると次のウィンドウが表示されます。



セレクタの表示例

ポートの選択

セレクタのウィンドウの右上には、接続されているKIMOTO Kimosetter 340iの機器番号が表示されます。複数のKIMOTO Kimosetter 340iが接続されているときは、使用するKIMOTO Kimosetter 340iの機器番号を選択します。(A)の部分が反転表示されていないときは、(A)の部分をマウスでクリックして反転表示させます。

参考

SCSIが2系統ある場合は、「SCSI#6 BUS#1」と表示されます。

AppleTalk

この設定は直接影響しません。ネットワークの接続状況やMacintoshの使用状況に合わせて[使用]、[不使用]を設定します。

[用紙設定]ダイアログ

[紙設定]ダイアログは、[ファイル]メニューから[用紙設定...]を選択すると表示されます。

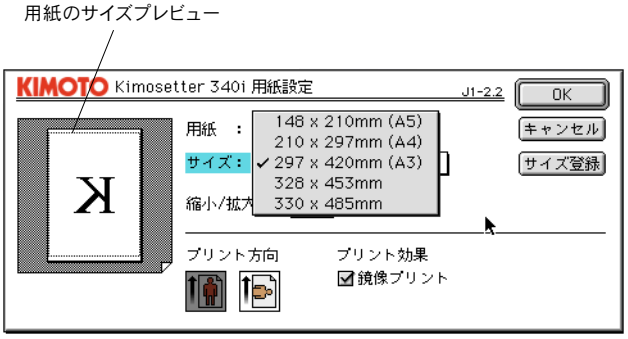
用紙

[用紙]は[デジグラフTH]に固定されています。

サイズ

[サイズ]メニューを選択すると、下記の中からサイズを設定することができます。

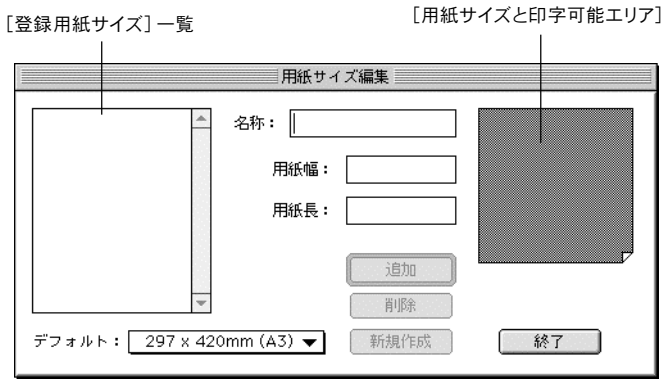
[148×210mm (A5)]、[210×297mm (A4)]、[297×420mm (A3)]、[328×453mm]、[330×485mm]



用紙のサイズプレビューをクリックすると、[プレビュー]表示と[用紙サイズと印字可能エリア]表示を切り替えます。

[サイズ登録]ボタン(自由用紙サイズの登録)

特別な用紙のサイズを設定するには、[サイズ登録]ボタンをクリックします。用紙サイズ編集画面が表示されます。



名称、用紙幅、用紙長を設定して、[追加]ボタンをクリックすると、[登録用紙サイズ]一覧に設定した名称が登録されます。設定できるサイズは最大で用紙幅330mm、用紙長505mmです。この名称が[サイズ]メニューから選べるようになります。設定を変更するには、[登録用紙サイズ]一覧から名称をクリックして、用紙幅や用紙長の設定を変更します。設定を削除するには、[登録用紙サイズ]一覧から名称をクリックして、[削除]ボタンをクリックします。用紙サイズと印字可能エリアをクリックすると、[プレビュー]表示と[用紙サイズと印字可能エリア]表示を切り替えます。

参考

用紙サイズの設定単位はデフォルトで「mm」になっています。インチ単位で設定したいときには、数字の入力したあとに「"」をつけてください。
入力例

- 5 ..... 5mmを指定
- 5mm..... 5mmを指定
- 5" 5インチを指定

縮小／拡大率

[縮小率拡大率]編集ボックスには25から400(パーセント)までの数値を設定することができます。なお、使用するアプリケーションなどによっては、設定できる数値が異なりますこの数値を変更すると縮小または拡大して印字が行われます。デフォルト値は100です。

注意

[印字]ダイアログの[プレビュー]は、縮小／拡大率にかかわらず100%のサイズで表示されます。

プリント方向

横長の書類には横方向印字のアイコンをクリックします。

注意

［サイズ登録］で縦横同じサイズ（例:100×100）を登録し、印字方向を［横］に設定すると正常に印字されません。

プリント効果

［鏡像プリント］

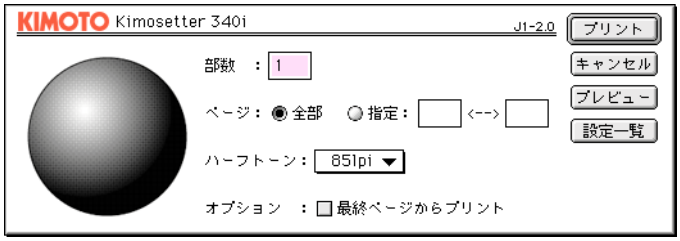
鏡に写ったように左右を逆転させて印字する機能です。

OK/キャンセル

設定したとおりでよければ[OK]ボタンをクリックします。設定した内容を更新せずに以前の設定のままにするときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

[印字]ダイアログ

［印字］ダイアログは、［ファイル］メニューから［プリント...］または［印刷...］を選択すると表示されます。



注意

なお、アプリケーションによっては、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択したとき、KIMOTO Kimosetter 340iの設定だけでなく、アプリケーション独自の印字設定が表示されることがあります。このときはアプリケーションのマニュアル等を参照して設定してください。

部数

書類を何部印字するかを指定します。[部数]エディットボックスには、印字部数として1から99までの数値を設定します。

ページ

[ページ]ラジオボタンでは印字するページの範囲を指定します。[全部]あるいは[指定]を選択することができます。[指定]ラジオボタンを選択すると印字するページ番号の範囲を指定することができます。

ハーフトーン

画像の持つハーフトーンの階調処理を設定します。単位は[lpi]で、スクリーン線数で表します。[60lpi][85lpi]の2種類があります。

最終ページからプリント

最初のページではなく、最終ページから印字されます。

プリント

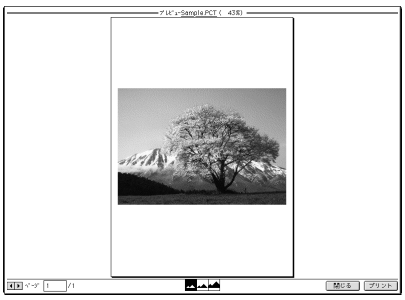
[プリント]ボタンをクリックすると設定した内容で印字を開始します。

キャンセル

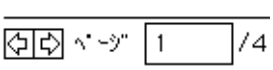
[キャンセル]ボタンをクリックすると、設定した内容を破棄して[印字]ダイアログを閉じます。

プレビュー

[プレビュー]ボタンをクリックすると印字イメージが画面に表示されます。



左右の矢印ボタンをクリックすると、ページを進めたり、戻したりできます。ページ番号が表示されている入力ボックスには移動するページを指定できます。



ズーム機能を持つ3種類のアイコンをクリックすると縮小・等倍・拡大が行われ、プレビュー表示されます。

[プリント]ボタンをクリックすると、現在プレビュー表示されているページの印字を実行します。また、[Option]キーを押しながら[プリント]ボタンをクリックすると、すべてのページを印字します。[閉じる]ボタンをクリックするとプレビュー表示が中止されます。

注意

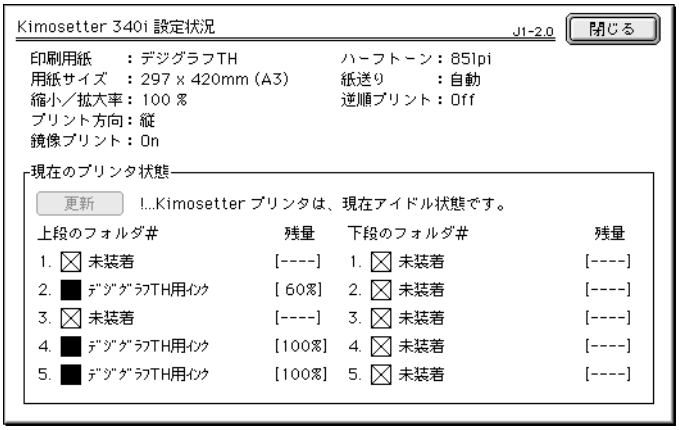
バックグラウンドプリントを「入」にした場合、[プリント]ボタンを押した後に必ず[キャンセル]ボタンをクリックしてプレビュー画面を閉じてください。プレビュー画面を閉じないと、印字は開始されません。

設定一覧

[設定状況]ダイアログを表示し、プリンタドライバの設定状況、プリンタのインクカセット装着状態を確認できます。

[更新]ボタン

指定されたインクカセット情報を更新します。フォルダを指定しない場合は残量が不明なフォルダ(??と表示)の情報のみを更新します。



バックグラウンドプリント

KIMOTO Kimosetter 340iにはバックグラウンドプリントという機能があります。この機能を使うと、書類を印字している間に、別の仕事をMacintoshで行うことができます。ここでは、プリンタで効率よくバックグラウンドプリントを行う方法について説明します。

バックグラウンドプリントを使えるようにするには

次の手順でバックグランドプリンタ機能をオンにします。

- ［アップル］メニューから［セレクタ］を選択する。
- ［セレクタ］のウィンドウが表示されたら、Kimosetter のアイコンをクリックし、［バックグラウンドプリント］の設定を［入］にする。
- 設定終了後に、［セレクタ］のクローズボックスをクリックする。

注意

- Kimosetter 340iが複数台つながっているときは、プリンタが接続されている機器番号を［ポートの選択］の中からクリックしてから、［バックグラウンドプリント］の［入］のラジオボタンをクリックします。
- Macintoshの環境によっては、セレクタでバックグラウンドプリントを［入］にしても、いつまで待っても印字が開始されない場合があります。このようなときは、特別メニューの中から［Finderに切り替える］を選択するか、バックグラウンドプリントの設定を［切］にしてください。

参考

ドライバのインストール直後は、［バックグラウンドプリント］は［切］に設定されています。いったん［入］にすれば、繰り返して同じ設定を行う必要はありません。もう一度設定を［切］に変更するまで、［バックグラウンドプリント］の設定は［入］のままになります。

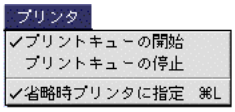
デスクトッププリント

プリンタを初めてセレクタで選択すると、プリンタのアイコンがデスクトップに現れます。デスクトップに表示されたプリンタアイコンの輪郭が太枠になっている場合は、そのプリンタが現在選択されているプリンタであることを示しています。

選択されていない状態

選択されている状態

デスクトッププリンタの切り替え方法は、セレクタで切り替える以外にも、プリンタアイコンをクリックし、[プリンタ]メニューの[省略時プリンタに指定]でも切り替えできます。



ドラッグ＆ドロップによる印字

デスクトッププリントは、ファイルを直接デスクトッププリンタのアイコンにドラッグ＆ドロップすることで、アプリケーションが自動的に起動され、印字が開始されます。また、プリンタが選択状態になっていなくても、印字できます。

プリンタアイコン

印字中、印字の状態に応じてプリンタアイコンが変化します。

プリンタが印字中であることを示します。

印字を中断しています。[プリンタ]メニューの[プリントキューの停止]で中断します。

印字の続行が困難なエラーの発生を示します。エラーメッセージに従ってエラーの原因を取り除いてください。

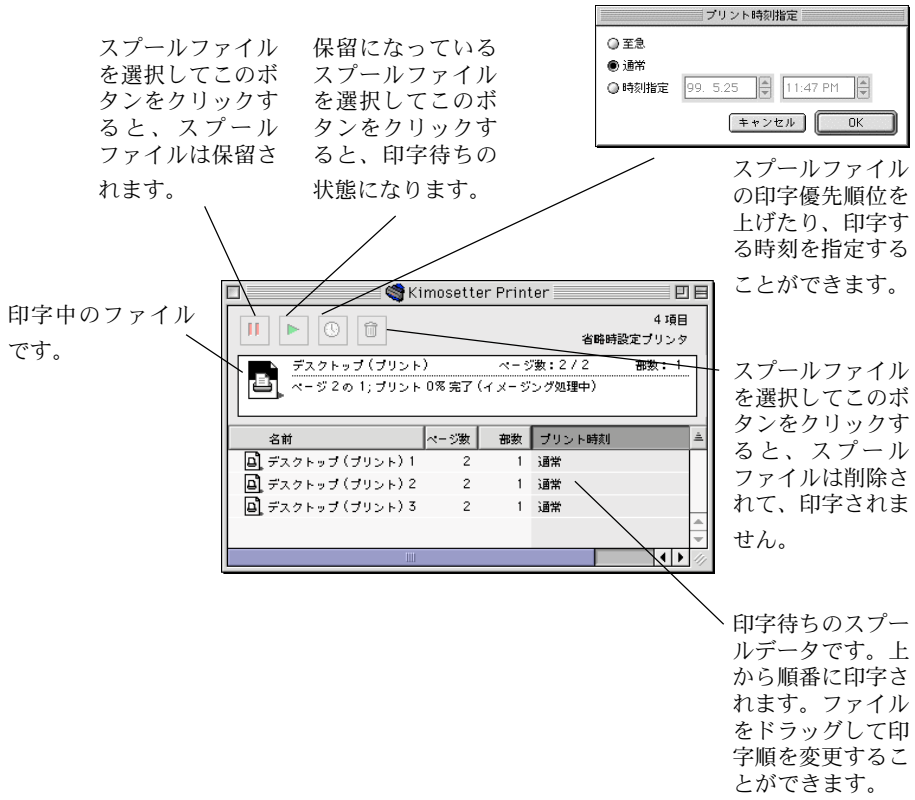
プリンタが使用できない状態を示します。

プリントモニタ

バックグラウンドプリントを行うと、印字中に別の作業ができるばかりでなく、印字終了を待つことなく複数の印字を指示することができます。複数の印字の管理は以下に示すプリントモニタで行います。プリントモニタはデスクトップに表示されているプリンタアイコンをダブルクリックすることで現れます。

注意

印字中にシステムがハングアップした場合、印字するとシステムをハングアップさせてしまうスプールデータが残ってしまうことがあります。この場合、システムを再起動しても、デスクトッププリンタは直ぐに印字しようとするため、必ずハングアップしてしまいます。このような状態になった場合は［shift］キーを押しながらシステムを立ち上げ、機能拡張を組み込まない状態でデスクトッププリンタのアイコンをゴミ箱に捨ててください。



第 4 章
メンテナンス・仕様

本章では、プリンタのメンテナンス方法や本体の仕様などについて説明します。

プリンタのメンテナンス

本プリンタを長期間にわたって快適にご使用いただくため、定期的に清掃を行うことをおすすめいたします。

本体の清掃

本体の清掃は、以下の手順で行います。

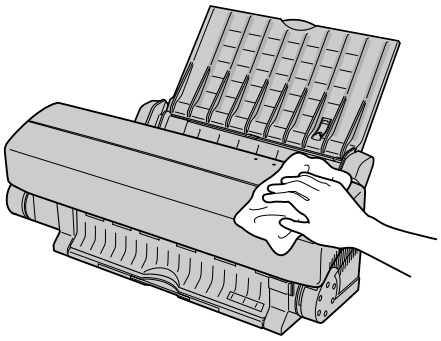
注意

必ずプリンタの電源を切ってから行ってください。

Step 1　プリンタの電源を切る

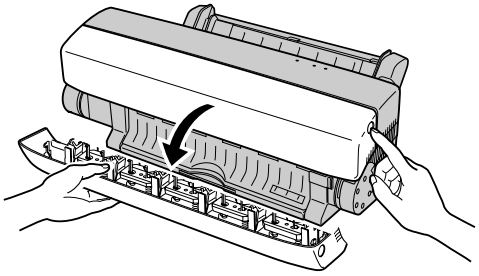
Step 2　外側を掃除する

本プリンタの外部を清掃します。 本プリンタ外部についたホコリや汚れは、早いうちに柔らかい布で拭き取ります。



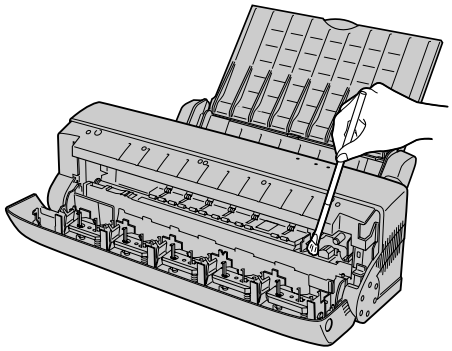
Step 3　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。



Step 4 内側を掃除する

フロントカバーを開け、本プリンタ内部のホコリ、ゴミを取り除きます。
本プリンタ内部にたまったホコリやゴミを柔らかいブラシで取り除きます。



注意

- 電子部品や配線をいためないよう注意してください。
- ブラシの毛などが中に残らないようにしてください。

印字ヘッドの清掃

印字品質を保つため、消毒用アルコール(エチルアルコール)と綿棒を用意し、印字ヘッドの清掃を行います。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

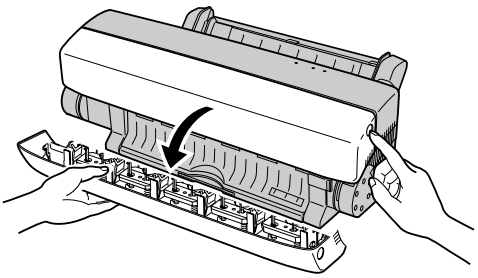
注意

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。
- プリンタの内部は濡らさないでください。

Step 1　プリンタの電源を切る

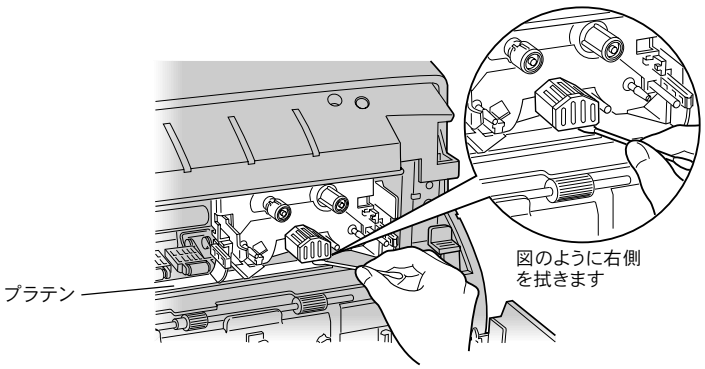
Step 2　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。



Step 3　印字ヘッドを掃除する

消毒用アルコールを含ませた綿棒で印字ヘッドを拭きます。 一度で印字ヘッドの汚れがとれない場合がありますので、何度か繰り返して行います。



注意

- アルコールがプラテンにつかないよう注意してください。
- 清掃後の印字はアルコールが乾いてから行ってください。

プラテンの清掃

印字品質を保つため、セロハンテープを用意し、プラテンの清掃を行います。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

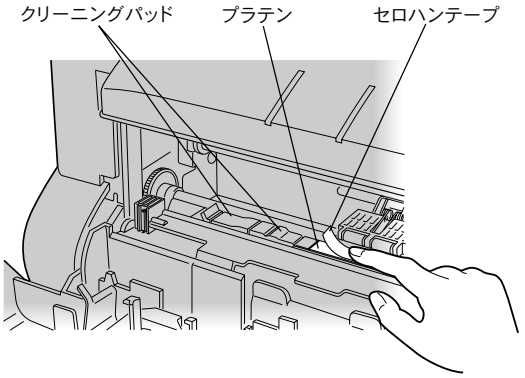
Step 1 プリンタの電源を切る

Step 2 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

Step 3 プラテンを掃除する

プラテンの汚れた部分にセロハンテープを貼り、指でテープの上をこすります。

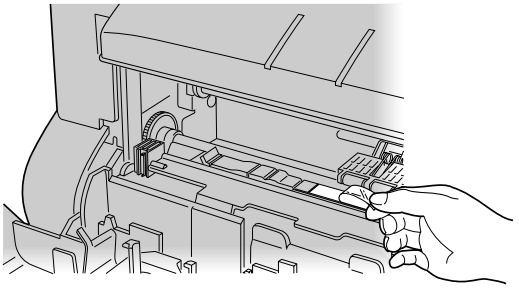


注意

プラテンの左側にあるクリーニングパッドには触れたり、はがさないでください。故障の原因になります。

Step 4 テープをはがす

ゆっくりとテープをはがします。 プラテンの汚れがとれるまで繰り返します。



用紙送りローラの清掃

正しい紙送りを保つため、消毒用アルコール(エチルアルコール)と綿棒で用紙送りローラの清掃を行います。

注意

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。変質する恐れがあります。
- プリンタの内部は濡らさないでください。

Step 1　プリンタの電源を切る

プリンタを初期状態にするために電源を切ります。

Step 2　プリンタを初期状態にする

プリンタの電源を入れ、*power*ランプと*ready*ランプを点灯させます。

Step 3　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

Step 4　キャリッジを左に移動させる

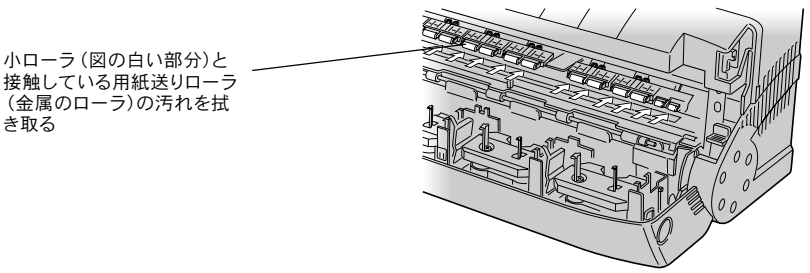
*error*ランプが点滅している状態で、*ready/insert*ボタンを押して、キャリッジを左に移動させます。

注意

プリンタの内部には手を入れないでください。キャリッジが左に移動する時に手が挟まれ、ケガや故障の原因となります。

Step 5　用紙送りローラを清掃する

消毒用アルコール(エチルアルコール)を含ませた綿棒で、小ローラーと接触している用紙送りローラ(金属のローラ)の汚れを拭きます。 一度で汚れがとれない場合がありますので、何度か繰り返して行います。



注意

- アルコールがプラテンにつかないよう注意してください。
- 清掃後の印字はアルコールが乾いてから行ってください。

Step 6 用紙送りローラを回転させる

ready/*insert*ボタンを押して離すと、用紙送りローラが一定量回転します。汚れている部分を同様に消毒用アルコール(エチルアルコール)を含ませた綿棒で用紙送りローラを拭きます。

Step 7 フロントカバーを閉じる

清掃が終了したらフロントカバーを静かに閉じます。

給紙ローラの清掃

長期間プリンタを使用すると、ホコリなどが給紙ローラに付着して、紙送り不良(用紙が給紙されない)を起こすことがあります。使用中に給紙動作が不安定になった場合は、下記の手順で水と綿棒を使用して給紙ローラの清掃を行います。

注意

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。変質する恐れがあります。
- プリンタの内部は濡らさないでください。

Step 1 プリンタの電源を切る

給紙ローラの清掃を行うときは、プリンタを初期状態にするために電源を切ります。

Step 2 用紙を取り除く

用紙トレイ内に用紙がある場合は、用紙を取り除いてください。

Step 3 プリンタを初期状態にする

プリンタの電源を入れ、*power*ランプと*ready*ランプを点灯させます。

Step 4 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

Step 5 プリンタを清掃モードにする

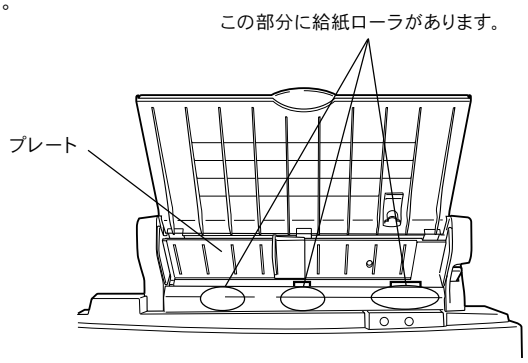
*error*ランプが点滅している状態で、*ready*/*insert*ボタンを押して、キャリッジを左に移動させます。

注意

プリンタの内部には手を入れないでください。キャリッジが左に移動する時に手が挟まれ、ケガや故障の原因となります。

Step 6　給紙ローラの位置を確認する

給紙ローラは、用紙トレイのコルクが貼り付けてある位置のプリンタ側に合計5ヶ所あります。



Step 7　給紙ローラを清掃する

プレートを手で押さえて、軽く水分を含ませた綿棒で、給紙ローラの汚れを拭きます。ローラには溝がありますので、溝に沿って左右に綿棒を動かして拭きます。

Step 8　給紙ローラを回転させる

ready/*insert*ボタンを押して離すと、給紙ローラが一定量回転します。同様に軽く水分を含ませた綿棒で給紙ローラを拭きます。なお、給紙ローラを回転させると、プレートが上がってきますがそのまま清掃を続けても問題ありません。

注意

用紙トレイの内部に、綿棒や手を入れた状態で*ready*/*insert*ボタンを押さないでください。用紙トレイ内部に引き込まれて、ケガや故障の原因となります。

Step 9　フロントカバーを閉じる

ready/*insert*ボタンを25～26回押すと、給紙ローラが1回転します。給紙ローラの全周の清掃が終了したら、フロントカバーを静かに閉じます。

ready/insertボタンの機能

本プリンタのready/insertボタンは多機能ボタンとなっており、本プリンタの状態により機能が異なります。 通常印字時における、それらの機能および操作方法を説明します。

●用紙の排紙

用紙が給紙されている状態で、コンピュータからデータを受信していないとき(readyランプが点灯状態)に、ready/insertボタンを押すと、用紙が排紙されます。

●アラームの解除

ハードエラーおよびメカニズムエラー以外のエラーがあったとき、そのエラー要因を取り除いたあとにready/insertボタンを押すと、アラームを解除できます。

●強制印字またはデータのクリア

コンピュータからのデータ送信が一定時間(約30秒)以上中断されたような場合(readyランプが高速点滅)に、ready/insertボタンを押すと、すでに受信していたデータを強制的に印字し、用紙を排出します。

ランプ表示一覧

各ランプの表示

ランプ	ランプ状態	状　態
power	☼	プリンタの電源が投入されている間は常に点灯
	◐	デモパターン印刷中は高速点滅
	●	電源が切断されている間は消灯
ready	☼	データなし、待機状態
	☼	データ受信、処理中
	◐	データあり、強制印刷可能
error	◐	プリンタ内に何らかのエラーを検出したときに高速点滅
	●	プリンタが正常な状態のときに消灯

点灯: ☼　　高速点滅: ◐　低速点滅: ☼　消灯: ●

印字を高速化するには(Windowsでパラレルポート接続の場合)

プリンタプロパティの詳細タブの「ポートの設定」ダイアログで(通信速度の選択)から「高速」あるいは「ＤＭＡ転送」に設定することにより、印字速度を高速化することができます。

各通信速度の選択には下記のコンピュータの環境または、ＢＩＯＳの設定が必要になります。

通信速度のモード	コンピュータの環境条件
ＤＭＡ転送	：ＥＣＰコントローラとＤＭＡチャネルがパラレルポートに割当 てられていること
高速	：パラレルポートにＥＣＰコントローラチップが搭載していること
標準	：どのＰＣでも使用可能

なお、ドライバーインストール時は自動的[標準]に設定されます。

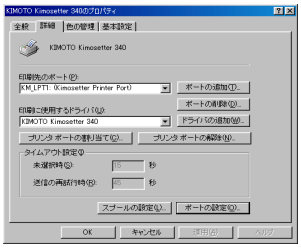
注意

- お使いのコンピュータにECPコントローラチップが搭載されているかどうか、また「DMA転送」が可能かどうかは、各コンピュータメーカにお問い合わせください。
- 「DMA転送」をKM_LPT1:で使用する場合は、LPT1のDMAチャネルが1または3に、IRQが7に設定されていることを確認してください。
- Windows 2000/ XPでは、「DMA転送」はサポートされていません。印刷速度を高速化する場合は、「高速」してください。

設定方法

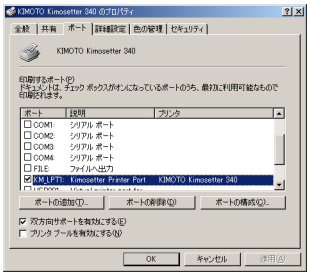
1. [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択し[KIMOTO Kimosetter 340i]アイコンを右クリックして[プロパティ]を表示させます。Windows XPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択し[KIMOTO Kimosetter 340i]アイコンを右クリックして[プロパティ]を表示させます。

2. プロパティの[詳細]タブを開いて、「ポートの設定」をクリックします。Windows NT/ 2000 / XPでは、プロパティの[ポート]タブをクリックします。



Windows 95/ 98/ Me の場合

Windows NT の場合



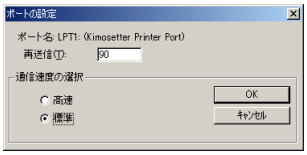
Windows 2000 の場合

Windows XP の場合

3. 「高速」あるいは「DMA転送」のラジオボタンをクリックして「OK」をクリックします。Windows 2000/XPでは、「ＤＭＡ転送」はサポートされていません。「高速」のラジオボタンをクリックしてください。

Windows 95/ 98/ Me の場合

Windows NT の場合



Windows 2000 / XP の場合

「OK」をクリックして下記メッセージが表示された場合

・メッセージ１

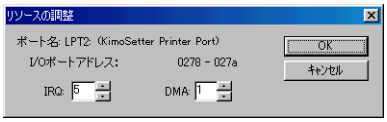
お持ちのコンピュータにＥＣＰコントローラチップが搭載されているか確認の上、コンピュータの取扱説明書にしたがってＢＩＯＳのパラレルポートをＥＣＰモードに設定してください。

・メッセージ２

お持ちのコンピュータにＥＣＰコントローラチップが搭載されかつ、ＤＭＡ転送が可能かどうか確認の上、コンピュータの取扱説明書にしたがってＢＩＯＳのパラレルポートをＥＣＰモード／ＤＭＡ転送に設定します。

増設パラレルポート搭載時

増設パラレルポート（ＬＰＴ２／３）を搭載のコンピュータで、「ＤＭＡ転送」をお使いの場合、「ポート設定」ダイアログの「リソースの調整」をクリックして、ＩＲＱ(割込み番号)とＤＭＡの番号を他のリソースと競合しないように設定します。



特殊用途での注意事項（Windowsの場合）

片方向インターフェースの使用について

ドライバをインストールした直後は双方向インターフェースを使用する設定となります。増設インターフェースポートやネットワーク経由で使用する場合は双方向インターフェースで正しく動作しないことがあります。この場合は片方向インターフェースに設定します。

また、次のような場合は片方向インターフェースに設定する必要があります。

1　変換コネクタで片方向インターフェース型ケーブルを使用している場合
2　プリンタ切換機、プリンタバッファを経由して印字する場合
3　その他の原因で双方向通信が正常に行えない場合

片方向インターフェースの設定方法は以下の通りです。

＜Windows 95/98/Meの場合＞

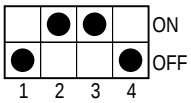
1　[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを開きます。
2　[KIMOTO Kimosetter 340i]のアイコン上でマウスの右ボタンをクリックしリストから[プロパティ]を選択します。
3　[詳細]タブを開き、[印刷先のポート]から[LPT×:]を選択します。(×には数字が入ります)
4　[詳細]タブの[スプールの設定]ボタンをクリックします。
5　[スプールの設定]の[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択します。
6　[OK]をクリックして設定終了です。開いたダイアログを閉じてください。

＜Windows NT/2000/XPの場合＞

1　[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを開きます。
Windows XPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択し[プリンタとFAX]フォルダを開きます。
2　[KIMOTO Kimosetter 340i]のアイコン上でマウスの右ボタンをクリックしリストから[プロパティ]を選択します。
3　[ポート]タブを開き、[印刷するポート]から[LPT×:]を選択します。(×には数字が入ります)
4　[双方向サポートを有効にする]チェックボックスのチェックをはずします。
5　[OK]をクリックして設定終了です。開いたダイアログを閉じてください。

ディップスイッチの設定(MacintoshでSCSI接続する場合)

MacintoshとSCSI接続するときのSCSIの機器番号(ID)を設定します。他に接続されている機器のIDと重ならないように設定します。



上図は工場出荷時の設定「No.6」です。

1	2	3	4	SCSIの機器番号
OFF	OFF	OFF	OFF	No.0 ※
ON	OFF	OFF	OFF	No.1
OFF	ON	OFF	OFF	No.2
ON	ON	OFF	OFF	No.3 ※
OFF	OFF	ON	OFF	No.4
ON	OFF	ON	OFF	No.5
OFF	ON	ON	OFF	No.6(工場出荷時の設定)
ON	ON	ON	OFF	No.7(Macintosh本体で使用のため使用不可)

※　Macintosh内蔵のハードディスクドライブ及びCD-ROMドライブで使用していることがあります。Macintosh付属のマニュアルをお読みになり、使用可能かどうか確認します。

プリンタの輸送

一度開梱したプリンタを輸送するときは、必ず以下の手順で行ないます。

Step 1　プリンタの電源を切る

Step 2　用紙トレイの用紙を取り除き、用紙サポートを取り外す

Step 3　プリンタケーブルと電源コードを取り外す

SCSIアダプタを取り付けているときは、SCSIアダプタを取り外します。

Step 4　フロントカバーを開け、インクカセットを取り外す

Step 5　キャリッジを右側に寄せる

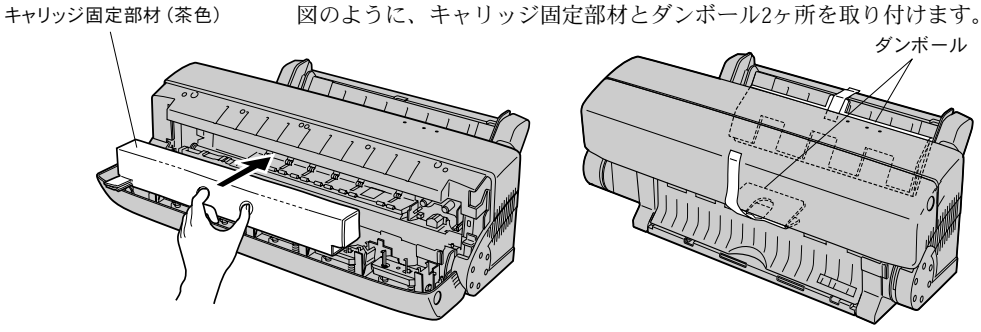
キャリッジ左側の側面上部を手で押して、静かに右側に寄せます。

注意

キャリッジ側面上部以外（印字ヘッドや突起部など）には手を触れないでください。

Step 6　キャリッジ固定部材、ダンボールを取り付ける

図のように、キャリッジ固定部材とダンボール2ヶ所を取り付けます。



注意

キャリッジ固定部材を取り付けるときは、印字ヘッドや突起部などに触れないように取り付けてください。

Step 7　フロントカバーを閉める

Step 8　購入時にプリンタが入っていた箱にプリンタを入れる

注意

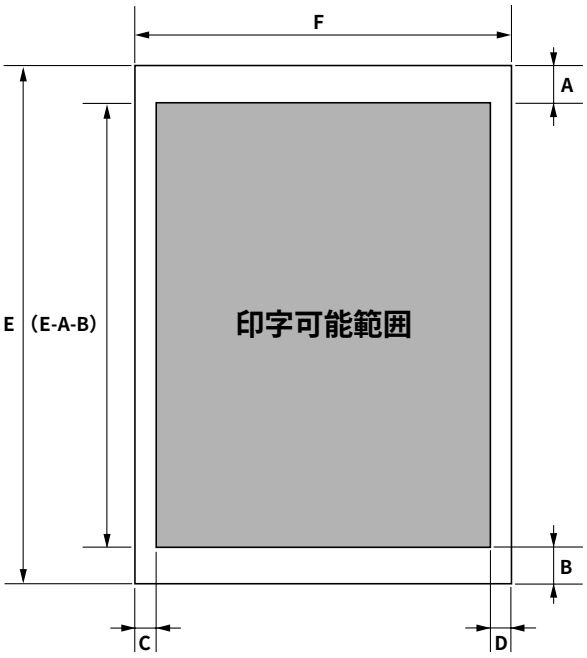
インクカセット、マニュアルなどは、袋に入れてから箱に入れます。

仕様

一般仕様

印字ヘッド	240ドット
印字速度	50cps相当 10cpiの文字を印字した場合
解像度	1200×600dpi
印字幅	12.7インチ
改行方式	フリクションフィード方式
用紙幅	98～330mm
用紙長	98～505mm
印字用紙	デジグラフTH
プリンタバッファ	32KB
外形寸法・重量	約568(幅)×270(奥行)×202(高さ)、約9.5kg
インターフェース	双方向パラレル：標準アンフェノールタイプ36ピンメス USB：Universal Serial Bus Specification Revision 1.0 SCSI(アダプタ装着時)：標準アンフェノールタイプ50ピンメス
電源	AC100V
機械寿命	印字10,000パス
騒音	54db
消費電力	最大約54W　待機時約10W
使用環境	温度：15～30℃ 湿度：30～70％(結露なきこと)
保管環境	温度：0～35℃ 湿度：30～70％　(結露および凍結なきこと)

印字範囲



A：上余白 13.4mm以上
B：下余白 15mm以上
C：左余白 3.4mm以上
D：右余白 3.4mm以上 ＊1

オプションとサプライ品について

Kimosetter 340i用サプライ品一覧

オプション(Macintosh用)

商品名
Kimosetter 340用 RIP 2.0J　ADB用
Kimosetter 340用 RIP 2.0J　USB用
SCSIアダプタ

オプション(Windows用)

商品名
Kimosetter 340用 RIP for Windows

インクカセット

商品名
デジグラフTH用インクカセット

用紙類

商品名
デジグラフTH

第 5 章
修理に出す前に

本章では、プリンタトラブル時の回避方法を記載しています。修理に出す前には必ず本章をお読みください。
なお、本章は以下の構成になっています。
1.はじめに
2.困ったときには
3.エラーメッセージが表示されたときには
4.保証、修理依頼方法

1.はじめに

本プリンタを使用中、何らかのトラブルが発生した場合にお読みください。お客様ご自身での簡単なメンテナンスによって、トラブルが解消できる場合があります。本章では、以下の2つの方法により、トラブルの対処方法を記載しています。

■ プリンタそのものやその印字結果に症状が出ている場合の対処方法
「困ったときには」をお読みください。

■ 画面に「エラーメッセージ」が表示された場合の対処方法
「エラーメッセージが表示されたときには」をお読みください。

各項目に記載された、それぞれの手順と注意事項をよくお読みになり、対処してください。記載された対処方法でトラブルが解消できない場合は、修理依頼が必要となります。「保証、修理依頼方法」の項目をお読みになり、修理依頼の準備を行ってください。

なお、対処方法についてご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。

参考

- 本書巻末には、「問い合わせ/修理依頼シート」の書式を記載しています。株式会社 きもと へのお問い合わせや修理ご依頼の際には、こちらの書式をコピーして、必要事項をご記入の上ご利用ください。
- 次項からの対処方法で説明している記述の中には、個々の部品名称が多く使われています。わからない用語が出たときには、巻末の「索引」から検索するか、第1章「基本操作ガイド」の「各部の名称とその働き」他を参照してください.

2.困ったときには

印字動作が行われない、あるいは印字結果に異常が起きている場合は以下の個別の現象に応じて対処します。

電源が入らない

以下の項目を確認します。

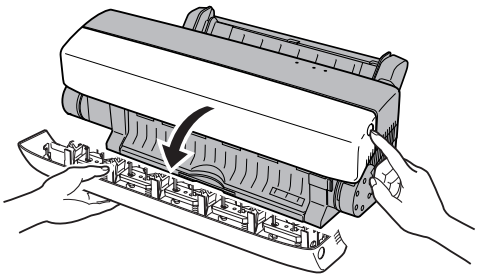
- **電源コードが抜けていないか。**
  第1章「プリンタの準備をする」のStep10を参照し、電源コードが、プリンタの電源コード差し込み口に奥までしっかりと差し込まれているか確認します。差し込まれていない場合は、奥までしっかりと差し込みます。その後、*power*ボタンを押して*power*ランプが点灯することを確認します。
- **電源コードを集中スイッチに接続して、コンピュータや周辺機器を同時に電源ON／OFFしていないか。**
  AC電源の集中スイッチには対応していません。集中スイッチの場合はAC電源投入後、プリンタ本体の*power*ボタンをONにします。

紙づまりが起きたとき

紙づまりが起きた場合、次の手順で用紙を取り除きます。

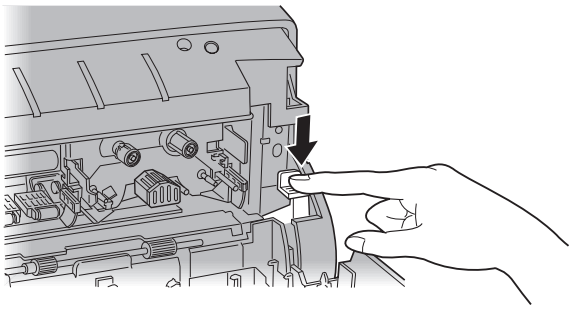
Step 1　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーを開けます。



Step 2　用紙を取り出す

リリースレバーを押し下げて、用紙を静かに引き抜いてください。 プラテンが汚れている場合も紙づまりの原因になります。第4章の「プラテンの清掃」の内容にしたがって清掃します。



Step 3　フロントカバーを閉じる

フロントカバーを静かに閉じます。

参考

フロントカバーを閉じると自動的にリリースレバーが元の位置に戻ります。

キャリッジからインクカセットが外れないとき

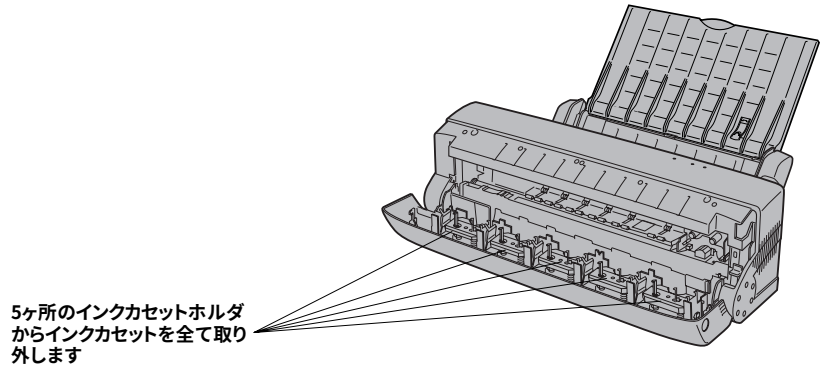
次の手順でインクカセットを取り外します。

Step 1　プリンタの電源を切る

Step 2　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押してフロントカバーを開けます。

Step3　インクカセットホルダからインクカセットを全て取り外す



Step 4　フロントカバーを閉じる

Step 5　プリンタの電源を入れる

プリンタの電源を入れると、キャリッジにあるインクカセットを、インクカセットホルダに戻す動作を行います。正常に戻るとpowerランプとreadyランプが点灯します。

注意

- **インクカセットホルダに戻らない場合は、errorランプが点滅します。**

Step 6　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトを押してフロントカバーを開けます。

Step 7　確認を行う

キャリッジにあったインクカセットがインクカセットホルダにあることを確認します。

上記の方法でキャリッジからインクカセットが外れない場合は、次の手順でキャリッジからインクカセットを取り外します。

キャリッジからインクカセットを取り外す場合

次の手順でインクカセットを取り外します。

Step 1 プリンタの電源を入れる

キャリッジにインクカセットがあるため、*error*ランプが点滅します。

Step 2 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

Step 3 プリンタの電源を切る

Step 4 プリンタの電源を入れる

Step 5 *ready/insert*ボタンを押す

*ready/insert*ボタンを約3秒間押し続けると、インクカセットが前面に出てきます。

Step 6 インクカセットを取り外す

*ready/insert*ボタンを押したまま、インクカセットを左側に寄せながら、ゆっくり手前に取り外します。

Step 7 *ready/insert*ボタンから手を離す

インクカセットを取り外した後、*ready/insert*ボタンから手を離します。約5秒後に、キャリッジの前面に出ていた部分が戻ります。

Step 8 *フロントカバーを閉じる*

キャリッジの前面に出ていた部分が戻ったことを確認した後に、フロントカバーを静かに閉めます。

電源を入れると異音が発生する

以下の項目を確認します。

● インクカセットがインクカセットホルダから外れている。
フロントカバーを開けて、インクカセットを正しく装着し直します。

● 用紙がつまっていないか。
本章「紙づまりが起きたとき」を参照し、用紙を取り除きます。

● 水平な場所で使用しているか。
傾いている場所でプリンタは正しく動作しません。水平で安定した場所で使用します。

● 振動や衝撃のある場所で使用していないか。
振動や衝撃はトラブルの原因になります。振動や衝撃のない場所で使用します。

● フロントカバーが正しく閉じられているか。
フロントカバーが開いているとプリンタは正しく動作しません。フロントカバーはしっかりと閉めます。

● プリンタの上にものを置いていないか。
プリンタの上にものを置いていたり、周囲から圧力を受けた状態ではプリンタが正しく動作しない場合があります。プリンタの上にはものを置かないようにします。

● キャリッジに直接インクカセットをセットしていないか。
キャリッジには直接インクカセットをセットせず、インクカセットはインクカセットホルダにセットします。

● 排紙開口部の前に障害物がないか。
排紙開口部から出た用紙が障害物に衝突すると、紙が折れたり曲がったりして思わぬトラブルが発生します。印字時は排紙開口部の周囲に障害物がないようにし、排紙される紙のエリアを確保します。

● 用紙送りローラのギアが、衝撃等でかみ合っていないか。
フロントカバーを開けて、リリースレバーを数回上下に動かしてかみ合わせます。

●フロントカバーを開けると、インクカセットがキャリッジの途中で止まっていないか。
第1章「プリンタの準備をする」を参照しプリンタ内部の固定部材を取り外します。

● フロントカバーを開けると、キャリッジが左側にないか。
センサーの汚れを確認します。消毒用アルコール(エチルアルコール)を含ませた綿棒で、次の部分の汚れを拭き取ります。消毒用アルコールがない場合は、から拭きを行います。以下の手順で行います。

注意

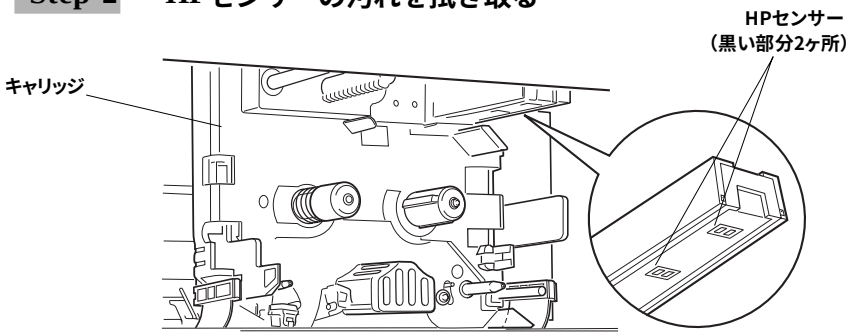
必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

注意

- **ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。**
- **プリンタの内部は濡らさないでください。**

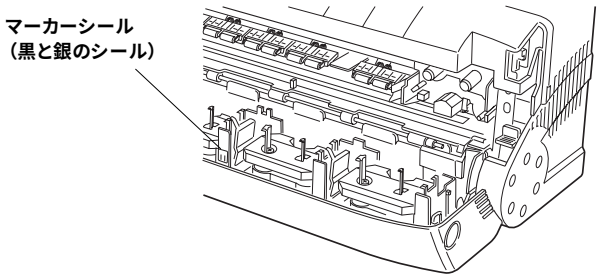
Step 1　プリンタの電源を切り、フロントカバーを開ける

Step 2　HPセンサーの汚れを拭き取る



Step 3　マーカーシールの汚れを拭き取る

このとき、シールがはがれないように注意します。



用紙が正しく送れない

以下の項目を確認します。

- **指定用紙以外の紙を使用していないか。**
  これらの用紙は紙づまりの原因になるため、指定用紙以外の紙は使用しないでください。
- **用紙のコーナーが丸まっていたり、カットされたりしていないか。**
  用紙を検出するセンサーが印字開始点や用紙長さを正しく認識できないため、使用できない場合があります。
- **用紙がつまっていないか。**
  本章の「紙づまりが起きたとき」を参照し、用紙を取り除きます。
- **用紙トレイに用紙を入れすぎていないか。**
  デジグラフTHは基本的には1枚の自動給紙で使用します。

● **給紙切換レバーの位置が給紙方法と一致しているか。**

デジグラフTHに印字する場合、給紙切換レバーを「A」に合わせます。

● **排紙開口部付近に用紙受けトレイの印字後の用紙がたまっていないか。**

あまり大量の印字した用紙が排紙開口部付近にたまると、印字した用紙の紙送りや排紙動作に支障をきたすことがあります。

● **用紙トレイに異物が入っていないか。**

プリンタの電源を切った後、用紙トレイの中に異物がないか確認します。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

● **給紙ローラの清掃を行う。**

第4章「給紙ローラの清掃」を参照し、給紙ローラの清掃を行います。

● **用紙ガイドと用紙の間にはすき間があるか。**

用紙ガイドと用紙の間は、用紙が用紙トレイからスムーズに取り出せる程度のすき間（2～3mm）を開けます。

● **用紙を十分にさばいているか。**

用紙を十分にさばかないと、静電気により用紙と用紙が密着してしまい複数枚送りの原因になります。

インクカセットについて

● **キャリッジからインクカセットが外れない。**

本章「キャリッジからインクカセットが外れないとき」を参照して、キャリッジからインクカセットを取り外します。

● **印字終了後、インクカセットをインクカセットホルダに戻すことができずにエラーになってしまう。**

センサーの汚れを確認します。消毒用アルコール(エチルアルコール)を含ませた綿棒で、次の部分の汚れを拭き取ります。消毒用アルコールがない場合は、から拭きを行います。以下の手順で行います。

注意

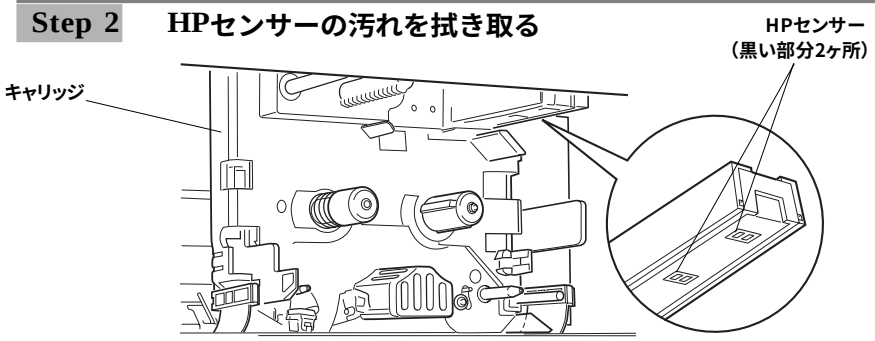
必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

注意

- **ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。**
- **プリンタの内部は濡らさないでください。**

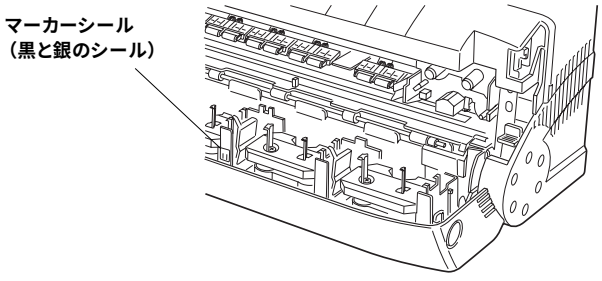
Step 1　プリンタの電源を切り、フロントカバーを開ける

Step 2　HPセンサーの汚れを拭き取る



Step 3　マーカーシールの汚れを拭き取る

このとき、シールがはがれないように注意します。



● **インクカセットが終了しているのに、印字動作を続ける。**

センサーの汚れを確認します。消毒用アルコール(エチルアルコール)を含ませた綿棒で、次の部分の汚れを拭き取ります。消毒用アルコールがない場合は、から拭きを行います。

注意

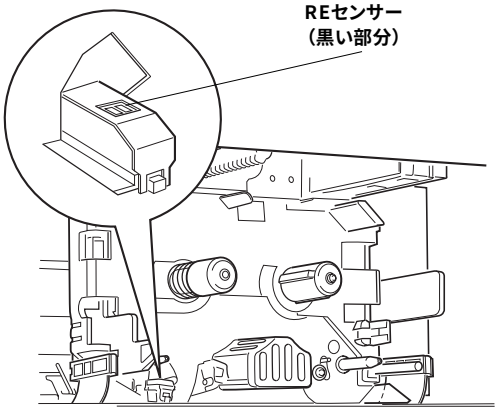
必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

注意

- **ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。**
- **プリンタの内部は濡らさないでください。**

Step 1　プリンタの電源を切り、フロントカバーを開ける

Step 2　REセンサーの汚れを拭き取る



印字結果について

● **印字すると、横にスジが入る。**

第4章「印字ヘッドの清掃」を参照して、印字ヘッドの清掃を行います。

● **印字すると、縦にスジが入る。**

第4章「プラテンの清掃」を参照して、プラテンの清掃を行います。

印字が薄い／ムラがある／白線や隙間が生じる

以下の項目を確認します。

● **インクリボンがヘッドから外れていないか。**

印字を止めて、インクカセットをすべて入れ直します。そのとき、インクカセットのたるみを取ってからセットします。

その他のトラブル時の対処法(Windowsの場合)

インストールできない／インストールしても印字できない

接続方法／機種問い合わせ

印字しない／印字が止まる

印字が異常に遅い

接続方法に関して

その他

インストールできない／インストールしても印字できない

以下の項目を確認します。

● **USB接続か。**

プリンタポートはUSBxxx (xxx は、USBポートID)に設定してあるか確認します。

Windows 98 / Me / 2000の場合

[印刷先のポート]一覧で[USBxxx]が表示されない場合は下記の手順を行います。

1.[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]で[コントロールパネル]を開き、[システム]アイコンをクリックする。

2.[デバイスマネージャ]タブをクリックして[その他のデバイス]を選択し、[削除]ボタンをクリックする。

3.さらにコンピュータとプリンタがUSBケーブルで接続されプリンタの電源を入っていることを確認し、[更新]ボタンをクリックする。

4.[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されるので、再度USBクラスドライバのインストールを行う。

Windows XPの場合

[印刷先のポート]一覧で[USBxxx]が表示されない場合は下記の手順を行います。

1.[スタート]-[コントロールパネル]で[コントロールパネル]を開き、[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]を選択する。

2.[ハードウェア]タブ開き、[デバイスマネージャ]タブをクリックする。

3.[表示]-[非表示デバイスの表示]を選択し、プリンタの下の「KIMOTO KMT340I」を選択し、コンピュータとプリンタがUSBケーブルで接続されプリンタの電源を入っていることを確認し、[操作]-[ドライバの更新]ボタンをクリックする。

4.[ハードウェアの更新ウィザード]画面が表示されるので、再度USBクラスドライバのインストールを行う。

● 印字すると、下記の現象が発生する。

・「印刷ジョブを開始できません」とメッセージが表示される。

・画面右下に[ステータスモニタ]が表示されるが、印字が開始されない。

・テキスト文書は印字されるが、画像データが印字されない。

下記の設定を行います。

Windows 98 / Me の場合

1.[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示した後、KIMOTO Kimosetter 340iを選択し、[ファイル]-[プロパティ]でプロパティを開く。

2.[詳細]タブをクリックし、[スプールの設定]ボタンを押す。

3.スプールデータ形式を[PMJOURNAL]に設定する。

スプールデータ形式を[PMJOURNAL]に設定できない場合は、ドライバを削除した後、第 2 章を参照してプリンタドライバを再度インストールを行います。ドライバの削除方法は、次項「その他」に記載の「●プリンタドライバを削除したい」を参照します。

接続方法／機種問い合わせ

● 従来のプリンタケーブルで接続できるか。

DOS/V（AT互換機）の場合、標準的なプリンタケーブルで問題ありません。

なお、双方向対応でないプリンタケーブルでも片方向インターフェースの設定をすれば印字は可能です。詳しくは第4章「特殊用途での注意事項」を参照します。

● 双方向パラレル対応のコンピュータで、双方向通信対応ケーブルを使用できるか。

双方向通信対応パラレルポートが使えるコンピュータで、双方向通信用ケーブルを使用した場合のみWindows 95/98/Meのプラグ＆プレイやプリンタの双方向通信処理が可能になります。

● DOS/V機ですが双方向通信対応可能か。

DOS/Vマシン（AT互換機）は、プリンタで使っている双方向通信にすべて対応します。

● 片方向通信設定で印字する場合、どんな制限があるか。

1) プリンタのエラー状態がプリンタドライバで確認できません。

2) 印字出力結果をすべてスプールファイルに作成するため、ハードディスクの空き容量に余裕がない場合は連続印字の枚数が制限されます。

印字しない／印字が止まる

以下の項目を確認します。

● **プリンタの電源が入っているか。**

印字前にプリンタの*power*ランプが点灯していることを確認します。

● **フロントカバーが正しく閉じられているか。**

フロントカバーを確実に閉じてから印字します。

● ***ready*ランプが消えているか。**

ready/*insert*ボタンを押して、*ready*ボタンを点灯させます。

● **プリンタケーブルは正しく接続されているか。**

ケーブルには負荷がかからないようにし、固定ネジや固定金具でしっかり止めます。

● **プリンタが紙づまりを起こしていないか。**

本章「紙づまりが起きたとき」を参照して、用紙を取り除きます。

● **アプリケーション側のプリンタ設定は正しく行われているか。**

アプリケーションからのプリンタ設定内容を再確認します。

● **プリンタドライバは正しくインストールされているか。**

第2章「プリンタドライバをインストールする」を参照し、インストールします。

● **プリンタケーブルに異常がないか。**

双方向通信対応のプリンタケーブルを使用しているにもかかわらず、下記の症状が出る場合は、プリンタケーブルあるいは接続状態に不具合がある可能性があります。

1)印字ダイアログの印字進行状態を示すレベルゲージが進行しない

2)「プリンターと通信できません」または「通信エラー」というエラーメッセージが表示される

3)用紙が入っているのに、「用紙がありません」というエラーメッセージが表示される

4)「プリンタは応答しません」というエラーメッセージが表示される

片方向インターフェースの設定に変更すると同じケーブルでも印字できるようであれば、プリンタケーブルが断線や接触不良を起こしています。ケーブル交換が必要です。

● **切替器やプリンタバッファを経由していないか。**

切替器やプリンタバッファを使用すると、双方向通信では正しい動作が行えない場合があります。切替器やプリンタバッファは、片方向通信設定で使用します。

● **長いプリンタケーブルを使用していないか。**

長いプリンタケーブルを使用しないでください。プリンタケーブルの総延長が長くなると信号が不安定になることがあります。

● **必要なインクカセットをセットしているか。**

必要なインクカセットがセットされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。必要なインクカセットをセットします。

● **インクカセットは正しい向きでセットしているか。**

インクカセットをB面(型番が印刷されている面)を上にして、インクカセットホルダにセットします。

● **ハードディスクの容量は十分あるか。**

Kimosetter 340iから印字する場合、ハードディスク内にデータ展開用ワークエリアが要求されます。(約25MB)これに必要な空き容量を事前に確保します。

● **ハードディスクの読み書きが不安定になっていないか。**

ハードディスク内にデータの読み書きが不安定なエリアが存在すると、印字時にエラーが発生して印字が停止する場合があります。このような症状を回避するために、Windows に付属しているSCANDISKや市販のディスク検査ツールを使用して、ディスクの検査・修復を定期的に行います。

印字が異常に遅い

以下の項目を確認します。

● **ハードディスクの空き容量は十分あるか。**

25MB以上の空き容量が必要です(印字後は解放されます)。これに必要な空き容量を事前に確保します。

●**ハードディスクのファイルが断片化されていないか。**

印字時にハードディスクに確保されるワークディスクを連続したディスク領域に取れない場合、印字速度の低下を引き起こす場合があります。印字前にハードディスクの空き容量を確保して、各種ツールにてファイルの整列を行うことをおすすめします。

● **アプリケーションを一度にたくさん使用していないか。**

印字処理に割り当てるメモリが不足している場合があります。いくつかのアプリケーションを終了して再度印字します。

● **ハードディスクの空き領域が不連続になっていないか。**

ハードディスク内のワークディスク用空き領域の不連続化が進むと、印字動作が異常に遅くなる場合があります。 Windows に付属するDEFRAGや市販のツールなどを使用して定期的にファイルの整列を行うことをおすすめします。

● **使用している環境の温度が高くないか。**

使用している環境の温度が高いと、印字速度が遅くなることがあります。

接続方法に関して

● **プリンタ切り替え機を使用したい。**

プリンタ切り替え機が双方向通信をサポートしていない場合がありますので、片方向インターフェース設定で使用します。

● **複数のプリンタポートを使用して接続したい。**

本体増設式のプリンタポート(パラレルポート)であればLPT1～LPT3までの3ポートまで使用可能です。

● **パラレル接続とUSB接続を同時にしたい。**

同時接続は可能です。

その他

● **Windows95/98/Meのプリンタドライバを削除したい。**

1.CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

2.[Setup.exe]プログラムをダブルクリックして、実行する。

3.セットアップのプログラムが実行されるので、画面の指示に従う。

● **Windows NT / 2000 / XPのプリンタドライバを削除したい**

プリンタドライバを削除する場合は、AdministratorまたはAdministratorと同等の権限を持ったユーザーでWindows NT4.0/ 2000/XPにログオンする。

パラレルポート接続時の削除

1.CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

2.[Setup.exe]プログラムをダブルクリックして、実行する。

3.セットアップのプログラムが実行されるので、画面の指示に従う。

USB接続時の削除　Windows 2000の場合

パラレルポート接続時と同様に、[Setup.exe]プログラムを実行して削除する。

USB接続時の削除　Windows XPの場合

1.[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択する。

2.[プリンタとFAX]ダイアログが表示されたら、「KIMOTO Kimosetter 340i プリンタドライバ゛」を選択して[ファイル]-[削除]を選択する。

3.[ファイル]-[サーバーのプロパティ]で「プリントサーバーのプロパティ」タブを開く。「インストールされたプリンタドライバ」の一覧に、「KIMOTO Kimosetter 340i プリンタドライバ゛」があった場合は、これを選択して[削除]ボタンをクリックする。

その他のトラブル時の対処法（Macintoshの場合）

- インストール時「ディスクに書類が入っていません」と表示される／インストーラが見つからない
- セレクタにアイコンが出てこない
- セレクタからプリンタを選択できない／ポート番号が出てこない
- 印字しない／印字が止まる
- 印字が異常に遅い
- 接続方法に関して
- その他

インストール時「ディスクに書類が入っていません」と表示される／インストーラが見つからない

以下の項目を確認します。

● **At Easeがインストールされているか。**

At Easeを使っているときは、以下の作業を行います。

プリンタドライバディスクをディスクドライブに挿入すると、「ドライブ1のフロッピーディスクには書類が入っていません」と表示されたり、画面にインストーラが表示されないことがあります。

その場合は、次の方法によりインストールが可能になります。

- **[特別]メニューから[Finderに切り替える]を選択した後に、Finderでインストーラのアイコンをダブルクリックして、インストールを行う。**

- **[特別]メニューの中に[Finderに切り替える]という項目がない場合は、まず[At Easeに切り替える]を選択する。次にAt Ease設定を起動し、「切」をチェックする。さらにMacintoshを再起動した後にドライバのインストールを行う。**

セレクタにアイコンが出てこない

以下の項目を確認します。

● **QuickDrawGXの機能が使用可能になっているか。**

QuickDraw GX機能が組み込まれている場合は、次の手順でQuickDraw GX機能を無効にします。

1 ［アップル］メニューの［コントロールパネル］から［機能拡張マネージャ］を開く

2 「機能拡張」のリストにある Quick Draw GX関連のチェックマークをすべて外す

3 ［機能拡張マネージャ］のウィンドウを閉じる

4 コンピュータを再起動する

● **プリンタドライバのインストールを行ったか。**

「セットアップ」CD-ROMからインストールを行ないます。

セレクタからプリンタを選択できない/ポート番号が出てこない

以下の項目を確認します。

● **SCSIケーブルおよびターミネータは正しく接続されているか。**

SCSIケーブルおよびターミネータを正しく接続してください。また、ケーブルは無理に曲げたりしないでください。無理に曲げるとSCSIケーブル内部で断線する恐れがあります。

● **SCSIケーブル、USBケーブルのコネクタが緩んでいないか。**

SCSIケーブルの接続コネクタは固定金具でしっかりと固定します。

● **SCSI機器番号は正しく設定されているか。**

機器番号は他のSCSI機器と重複しないように設定します。

● **SCSIケーブルはハイインピーダンスケーブルか。**

ハイインピーダンスケーブルをおすすめします(複数の機器を接続してご使用の場合はすべてハイインピーダンスケーブルにすることをおすすめします)。

● **接続ケーブルが長すぎないか。**

長いケーブルを使用しないでください。ケーブルの総延長が長くなると信号が不安定になることがあります。

● **プリンタの電源が入っているか。**

セレクタで機器選択する前にプリンタの電源が投入されていることを確認します。電源が入っていないときは、第１章「電源のオンとオフの手順」に従って、電源を入れ直します。

● **USBハブを使用していないか。**

USBハブを使用している場合は、USBハブの電源が入っているか確認します。

印字しない／印字が止まる

以下の項目を確認します。

● **プリンタの電源が入っているか。**

印字前にプリンタの*power*ランプが点灯していることを確認します。

● **フロントカバーが正しく閉じられているか。**

フロントカバーを確実に閉じてから印字します。

● ***ready*ランプが消えていないか。**

*ready/insert*ボタンを押して、*ready*ランプが点灯した状態にします。

● **必要なインクカセットをセットしているか。**

必要なインクカセットがセットされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。必要なインクカセットをセットします。

● **インクカセットは正しい向きでセットされているか。**

インクカセットをB面(型番が印刷されている面)を上にして、インクカセットホルダにセットします。

● **SCSIケーブルは正しく接続されているか。**

ケーブルは無理に曲げたりせず、コネクタ部分も固定金具や固定ネジでしっかり固定します。

● **ターミネータは接続されているか。**

SCSI接続の終端にあたる機器には必ずターミネータを接続します。ターミネータ内蔵の機器を併用する場合は、その機器をSCSIの終端に接続します。

● **SCSIアダプタは正しく取り付けられているか**

第１章「プリンタの準備をする」を参照し、正しく取り付けます。

● **プリンタが紙づまりを起こしていませんか？**

つまった用紙を取り除きます。用紙がローラーに挟まれている場合はフロントカバーを開けて、右側のリリースレバーを押し下げた状態で静かに用紙を引き出します。

● **アプリケーション側のプリンタ設定は正しく行われているか。**

アプリケーションからのプリンタ設定内容を再確認します。

● **プリンタドライバは正しくインストールされているか。**

第2章「プリンタドライバをインストールする」を参照し、インストールします。

● **セレクタでプリンタを正しく指定しているか。**

[アップル]メニューの「セレクタ」を選択して、表示される印字装置と機器番号が正しいことを確認して、使用機種名を必ずクリックします。(機種名をクリックしないと正しく選択されないことがあります)

● **ハードディスクの容量は十分あるか。**

ハードディスク内にデータ展開用ワークエリアが要求されます。(約10MB)これに必要な空き容量を事前に確保します。

● **ハードディスクの読み書きが不安定になっていないか。**

ハードディスク内にデータの読み書きが不安定なエリアが存在すると、印字時にエラーが発生して印字が停止する場合があります。このような症状を回避するために、Mac OSに付属しているDiskFirstAidで、ディスクの検査・修復を定期的に行います。

印字が異常に遅い

以下の項目を確認します。

● **ハードディスクの空き領域が不連続になっていないか。**

ハードディスク内のワークディスク用空き領域の不連続化が進むと、印字動作が異常に遅くなってしまうことがあります。市販のハードディスク用ツールなどを使用して定期的にファイルの整列(デフラグメンテーション)を行うことをおすすめします。

● **ハードディスクの空き容量は十分あるか。**

10MB以上の空き容量が必要です。これに必要な空き容量を事前に確保してください(印字後は解放されます)。 容量が確保できるがそれ以上の余裕がないような場合は、印字が非常に遅くなることがあります。

● **アプリケーションを一度にたくさん使用していないか。**

印字処理に割り当てるメモリが不足している場合があります。現在使用していない他のアプリケーションを終了させます。

● **使用している環境の温度が高くないか。**

使用している環境の温度が高いと、印字速度が遅くなることがあります。

接続方法に関して

● **複数台のプリンタを1台のコンピュータに接続可能か。**

SCSI機器番号を別々に設定すれば複数台のプリンタを1台のMacintoshに接続することは可能です。ただし、複数台のプリンタから同時に印字することはできません。

● **1台のプリンタに複数のMacintoshを接続可能か。**

できません。

その他

● EPSファイルがきれいに出力できない。

EPSファイルはポストスクリプト用のデータファイルのため、QuickDrawからの印字はアプリケーションによっては画面解像度の72dpi相当の画像が出力されてしまいます。

● 拡大・縮小印字をしたい。

用紙設定ダイアログの「拡大率・縮小率」にて%で指定してください。

● サイズ登録を行った横方向印字が正常に印字できない。

用紙幅、用紙長が同サイズ(例100×100)では、正常に動作しません。

● プリンタドライバを削除したい。

次の手順で削除します。

1.セットアップCD-ROMをプリンタにセットする。

2.Kimosetter Installerアイコンをダブルクリックする。

3.Installerダイアログでアンインストールを選択する。

3.アンインストールボタンをクリックしてアンインストールを実行する。

● WindowsとMacintoshを同時に接続したい。

パラレルポートとSCSIポートは同時に使用できません。SCSIアダプタ取り付け時はMacintoshで、SCSIアダプタ取り外し時はWindowsで使用できます。

パラレル接続とUSB接続の同時接続は可能です。

3.エラーメッセージが表示されたときには

本プリンタの印字動作は、パソコン本体との双方向通信を前提に設計されています。プリンタに発生した異常は、パソコン本体のシステムに組込まれた「プリンタドライバ」が感知すると、画面に「エラーメッセージ」を表示するようになっています。以下に代表的な「エラーメッセージ」の内容とそれに応じた対処方法を記載しています。

注意

画面に表示されるエラーメッセージは、全てが「プリンタドライバ」の発しているものとは限りません。下記の「エラーメッセージ」と照らし合わせても、画面に表示されているものと合致しない場合は、当社までお問合せください。

エラーメッセージが表示される

Windowsの表示

カセットチェンジャメカニズムに異常が発生しました。
印刷を終了します。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iのカセットチェンジャ・メカニズムが正常に動作できません。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

以下の項目を確認します。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

Step 1　プリンタの電源を切り、フロントカバーを開ける

Step 2　固定部材(外部、キャリッジ)が外されているか確認する

外されていない場合は、第1章「プリンタの準備をする」を参照し、固定部材(内部および外部)を外します。

Step 3　電源コードを確認する

第1章「プリンタの準備をする」のStep10を参照し、電源コードが、プリンタの電源コード差し込み口に奥までしっかりと差し込まれているか確認します。差し込まれていない場合は、奥までしっかりと差し込みます。

Step1～3の項目に該当がない場合は、センサーの汚れを確認します。消毒用アルコール（エチルアルコール）を含ませた綿棒で、次の部分の汚れを拭き取ります。消毒用アルコールがない場合は、から拭きを行います。

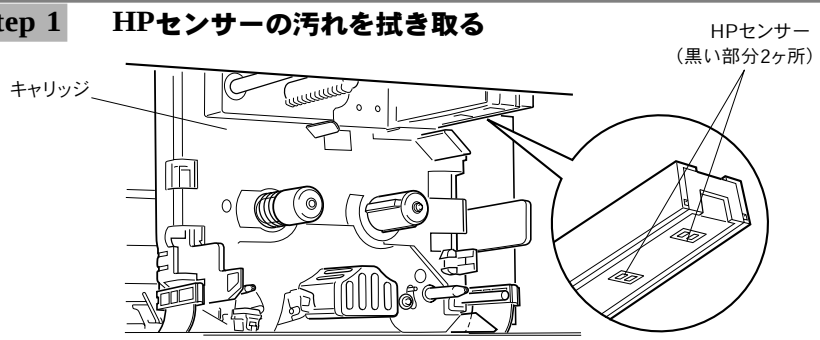
注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

注意

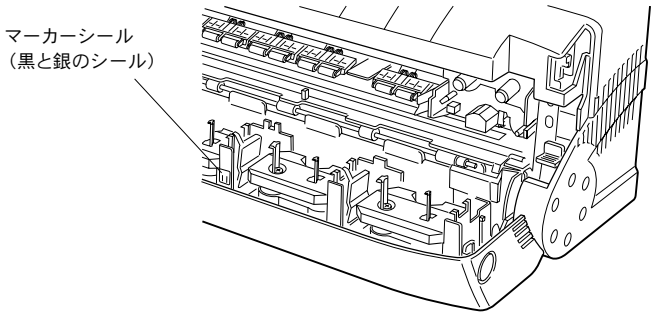
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。
- プリンタの内部は濡らさないでください。

Step 1 HPセンサーの汚れを拭き取る



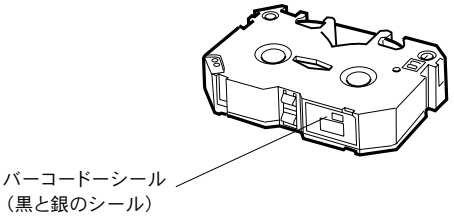
Step 2 マーカーシールの汚れを拭き取る

このとき、マーカーシールがはがれないように注意します。



Step 3 インクカセットのバーコードシールの汚れを拭き取る

このとき、バーコードシールがはがれないように注意します。



Windowsの表示

カール矯正メカニズムに異常が発生しました。印刷を終了します。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iのカール矯正・メカニズムが正常に動作できません。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

以下の確認を行います。

Step 1 プリンタの電源を切った後、電源コードを抜く

Step 2 プリンタの用紙を取り除く

Step 3 再度電源コードを差し込んで、電源を入れる

Windowsの表示

プリンタ内の不揮発性メモリに異常が発生しています。印刷を終了します。

Macintoshの表示

Kimosetter 340i内の不揮発性メモリが正常に読めません。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

以下の確認を行います。

Step 1 プリンタの電源を切った後、電源コードを抜く

Step 2 再度電源コードを差し込んで、電源を入れる

Step 3 コンピュータを再起動する

Windowsの表示

キャリッジメカニズムに異常が発生しました。印刷を終了します。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iのキャリッジモータ・メカニズムが正常に動作できません。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

センサーの汚れを確認します。消毒用アルコール(エチルアルコール)を含ませた綿棒で、次の部分の汚れを拭き取ります。消毒用アルコールがない場合は、から拭きを行います。

下記の項目を確認します。

注意

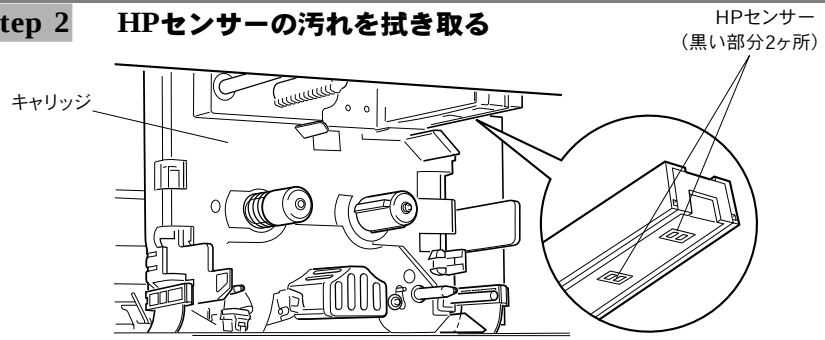
必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

注意

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。
- プリンタの内部は濡らさないでください。

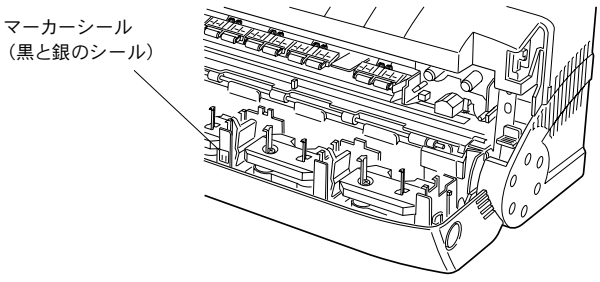
Step 1　プリンタの電源を切り、フロントカバーを開ける

Step 2　HPセンサーの汚れを拭き取る



Step 3　マーカーシールの汚れを拭き取る

このとき、マーカーシールがはがれないように注意します。



Windowsの表示

シートフィーダメカニズムに異常が発生しました。印刷を終了します。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iの紙送り・メカニズムが正常に動作できません。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

下記の項目を確認します。

Step 1　用紙の折れ、用紙の種類を確認する

使用できる用紙はデジグラフTHです。

Step 2　用紙ガイドを確認する

用紙ガイドと用紙の間は、用紙が用紙トレイからスムーズに取り出せる程度のすき間(2～3mm)を開けます。

Step 3　用紙トレイの中を確認する

プリンタの電源を切り、用紙トレイの中に異物がないか確認します。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

Step 4　給紙ローラの清掃を行う

「第4章給紙ローラの清掃」を参照し、給紙ローラの清掃を行います。

Windowsの表示

用紙が正常に給紙できませんでした。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iで用紙JAMが発生しました。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

下記の項目を確認します。

Step 1 **用紙の折れ、用紙の種類を確認する**

使用できる用紙はデジグラフTHです。

Step 2 **用紙トレイの中を確認する**

プリンタの電源を切り、用紙トレイの中に異物がないか確認します。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

Step 3 **給紙ローラの清掃を行う。**

第4章「給紙ローラの清掃」を参照し、給紙ローラの清掃を行います。

Windowsの表示

サーミスタ・エラーが発生しました。印刷を終了します。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iの温度サーミスタが正常に動作しません。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

以下の確認を行います。

Step 1 **放熱させる**

連続印字時の温度上昇時に表示される場合があります。その場合はプリンタの電源を切り、フロントカバーを開けて放熱させます。

Windowsの表示

プリンタ内の用紙が正常に排出できません。プリンタ内の用紙を取り除いてください。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iで用紙JAMが発生しました。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

以下の項目を確認します。

Step 1 **プリンタ内の用紙を取り除く**

本章「紙づまりが起きたとき」を参照し、プリンタ内の用紙を取り除きます。

Windowsの表示

No×ホルダ(×段)のインクリボンが切断されました。印刷を終了します。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iの×段カセットホルダNo×のインクが印刷中に切断されました。正常にプリントできません。「キャンセル」をクリックし中止して下さい。

以下の項目を確認します。

Step 1 **インクカセットのリボンにたるみがないか確認する**

インクカセットのリボンにたるみがある場合は、第1章「インクカセットの取り扱い方」のStep2を参照し、たるみを取り除きます。

Step 2 **インクカセットのリボンの巻きを確認する**

インクカセットのB面(印刷がある面)から鉛筆などを差し込んで、時計回り(巻取方向)に回して巻取れるか確認します。巻きが固くなっている場合は、インクカセットを交換します。

Windowsの表示

必要なインクカセットが不足しています。××××××××をセットしてください。

Macintoshの表示

Kimosetter 340iに必要なインクカセット(××××××××)が装着されていません。プリントを継続するためには、プリンタの停止要因を取り除いてください。プリントを中止したい場合は「キャンセル」をクリックして下さい。

以下の項目を確認します。

Step 1　インクカセットを確認する

表示されたインクカセットが、インクカセットホルダにセットされているか確認します。セットされていない場合は、インクカセットのB面(印刷がある面)を上にしてセットします。

また、他機種用のインクカセットがセットされていないか、確認します。

表示されたインクカセットがインクカセットホルダにセットされている場合は、センサーの汚れを確認します。消毒用アルコール(エチルアルコール)を含ませた綿棒で、次の部分の汚れを拭き取ります。消毒用アルコールがない場合は、から拭きを行います。

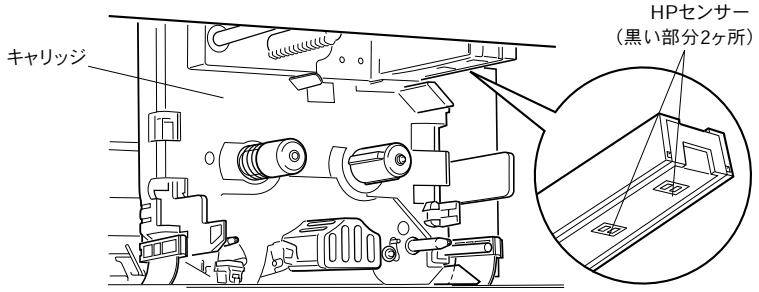
注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

注意

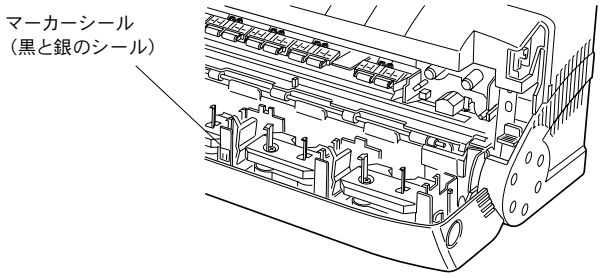
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。
- プリンタの内部は濡らさないでください。

Step 2　HPセンサーの汚れを拭き取る



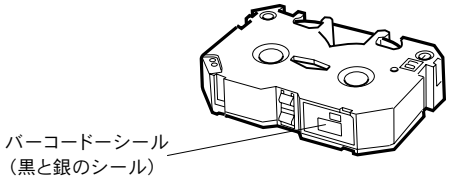
Step 3　マーカーシールの汚れを拭き取る

このとき、マーカーシールがはがれないように注意します。



Step 4　インクカセットのバーコードシールの汚れを拭き取る

このとき、バーコードシールがはがれないように注意します。



Windowsの表示

プリンタがオフライン状態で停止しています。印刷が一時中断しています。

Macintoshの表示

Kimosetter プリンタがオフライン状態です。プリントを継続するためには、プリンタの停止要因を取り除いてください。プリントを中止したい場合は「キャンセル」をクリックして下さい。

Step 1　電源コードを確認する

第1章「プリンタの準備をする」のStep10を参照し、電源コードが、プリンタの電源コード差し込み口に奥までしっかりと差し込まれているか確認します。差し込まれていない場合は、奥までしっかりと差し込みます。

問い合わせ/修理依頼シート

Kimosetter 340iへのお問い合わせや、修理依頼として発送される場合は、お手数ですが、下記項目に沿ってその症状とご利用環境をできるだけ詳しくお知らせください。
ファクシミリや郵送でのお問い合わせの場合で、印字結果/品質に関する症状の場合は、出力結果などの参考資料もあわせて添付ください.

当てはまる□にチェックマークを入れてください。該当する空欄部分はできるだけ記入願います。

1.お客様情報

1-1.お客様名： [ ]

1-2.ご連絡先：□ご自宅 □お勤め先名[ ]

ご住所 : [(〒 −)]

お電話番号： ファックス番号：

1-3.ご返却先 □ご連絡先と同じ □下記へ返送を希望

ご返却先名：

ご住所 : [(〒 −)]

お電話番号： ファックス番号：

2.お買上げ製品情報(シリアル番号は、本体背面または保証書に記載されています)

2-1.製品名: Kimosetter340i 2-2. シリアル番号[ ]

2-3.お買上げ年月日 年 月 日

2.4.ご利用オプション □SCSIアダプタ □Kimosetter 340用RIP 2.0J

□Kimosetter 340用RIP for Windows

3.ご利用コンピュータ情報

3-1.使用コンピュータ機種：メーカー名[ ]：名称・型番[ ]

3-2.動作環境 □Windows 95 □Windows 98 □Windows Me

□Windows NT □Windows 2000 □Windows XP

□Macintoshまたはその互換機 □Mac OS [ ]

3-3.プリンタとの接続形態 □USB □パラレルポート[Windowsのみ] □SCSI[Macintoshのみ]

3-4.プリンタドライバ Ver.

3-5.その他 □プリンタ切替器使用

□他社プリンタの同時使用の場合 メーカ名[ ]機種名[ ]

4.お問合せ内容：プリンタが正常に動作できない状況を,下記の項目にしたがってご記入ください

4-1.何をしている時ですか □プリンタ本体の接続/セットアップ中

□ドライバの新規/再/バージョンアップ インストール中

□印字中 [アプリケーション名:]

□その他 [ ]

4-2.どういった症状ですか

□*power*ランプが点灯しない

□*error*ランプが点滅しオンライン状態[*power*ランプ、*ready*ランプが両方点灯]にならない

□オンライン状態[*power*ランプ、*ready*ランプが両方共に点灯]なのに何も印字しない

□給紙/排紙が正常に行えない □ 印字結果が画面表示と異なる □印字品質がよくない

□画面に保証、修理依頼方法エラーメッセージが表示される

[エラーメッセージ内容:]

□その他(内容を具体的にご記入ください)[ ]

4-3.処法実施結果　本章「修理に出す前に」をご覧になって、該当の症状に当てはまる対処方法をお試しいただいた項目とその結果を記入ください

5.ご利用環境情報

5.1　コンピュータ本体に関する詳細情報

・CPU [　　] MHz
・ショップブランド/自作マシンの場合マザーボード名 [　　]
・RAM（メモリ）容量 [　　]MB
・HD（ハードディスク）容量　1台目:　　GB [空容量　　]GB
　2台目:　　GB [空容量　　]GB
　3台以上の場合:
・本体内の増設カード類　□無　□有 [名称:　　]
・プリンタ以外の周辺機器　□無　□有 [　　]
・ネットワーク利用　□無　□有 [　　]
・プリンタの共有　□無　□有
・その他（上記以外でご使用の拡張機器）　機器名称[　　]

5.2　Macintoshまたはその互換機をご利用の場合は,下記項目もあわせて記入ください

・増設SCSIカード　□無　□有（カード名を以下に記入ねがいます）
　[メーカ名　　名称/機種名　　]
・プリンタのSCSI設定　・ID No.　・BUS#
・SCSI接続機種[　　]
・ご使用のSCSIケーブル　□使用本数　□総延長の長さ
・仮想メモリ　□ON　□OFF
・拡張ビデオカード　□無　□有[メーカ名　　名称/機種名　　]

6.ご利用アプリケーション

(1) メーカ名　アプリケーション名[　　Ver.　　]
(2) メーカ名　アプリケーション名[　　Ver.　　]
(3) メーカ名　アプリケーション名[　　Ver.　　]
(4) その他のアプリケーション[　　]

索 引

E

errorランプ 15

H

HPセンサ 13

P

PEレバー 12
powerボタン 15
powerランプ 15

R

ready/inserボタン 15
ready/inserボタンの機能 63
readyランプ 15
REセンサ 13

S

SCSIアダプタ
　SCSIアダプタ取り付け口 13
　SCSIアダプタの取り付け方 8
　SCSIアダプタの取り外し方 9

ア

安全上のご注意 ii

イ

インクカセット
　インクカセットホルダ 12
　インクカセットを装着する 16
インクカセットホルダ 12
インクカセットを交換する 19
[印字]ダイアログ(Macintosh) 49
印字範囲 69
印字ヘッド 12
インターフェースコネクタ
　SCSIインターフェースコネクタ 14
　USBインターフェースコネクタ 13
　パラレルインターフェースコネクタ 13

エ

エラーメッセージ 95

オ

オープンセンサ 3, 12
オプション(Macintosh用) 70

カ

紙送り 50

キ
機器番号 9
キャリッジ 12, 12
キャリッジからインクカセットが外れないとき 21
給紙切換レバー 13, 14
給紙ローラ 11
ク
クリーニングパッド(オレンジ) 12
クリーニングパッド(白) 12
コ
固定部材
外部の固定部材を取り外す 2
内部の固定部材を取り外す 3
サ
サプライ
インクカセット 70
用紙類 70
シ
仕様 68
使用上の注意 v
セ
清掃
印字ヘッドの清掃 58
給紙ローラの清掃 61
プラテンの清掃 59
本体の清掃 56
用紙送りローラの清掃 60
ソ
操作パネル 15
タ
ダストカバー 4
テ
ディップスイッチ 14
デスクトッププリント 53
電源コード
電源コード差し込み口 13, 14
電源コードを接続する 10
電源のオンとオフの手順 25
ト
問い合わせ/修理依頼シート 104

ハ
排紙開口部 11
排紙ローラ 12
フ
プラテン 3, 12
プリンタとコンピュータを接続する
Macintoshの場合 7
Windowsの場合 6, 29
プリンタドライバのインストール
Macintoshの場合 36
Windowsの場合 28
プリンタの輸送 67
プリンタを設置する 5
フロントカバー
フロントカバー 11
フロントカバーイジェクトボタン 11
ホ
ボビン軸 13
マ
マーカーシール 12
ヨ
用紙受けトレイ 11
用紙送りローラ 12
用紙サポート 11
[用紙設定]ダイアログ(Macintosh) 47
用紙トレイ 11
用紙の種類 23
ラ
ラッチ 12
ランプ表示一覧 63
リ
リリースレバー 12

●製品に関する、ご質問、お問い合わせは下記にご連絡ください。
株式会社　きもと
〒160-0022　東京都新宿区新宿2丁目19番1号
TEL（03）3350-0701　　FAX（03）3350-4730

●製品の修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店あるいは上記当社にご連絡ください。

Kimosetter 340i ユーザーズマニュアル

株式会社　きもと／KIMOTO CO., LTD.
〒160-0022　東京都新宿区新宿2丁目19番1号
Printed in Japan 0204